



とんがり帽子の
アトリエ

ATELIER OF WITCH HAT
ATELIER OF WITCH HAT

白浜 鷗

KAMOME SHIRAHAMA

3





第12話 ◆ 003

第13話 ◆ 035

第14話 ◆ 065

第15話 ◆ 095

第16話 ◆ 129

第17話 ◆ 157

ATELIER OF WITCH HAT



KAMOME
SHIRAHAMA



《第12話》



恐れる
ことはない



魔法の記憶を
失えば

その恐怖さえ
忘れられる

ただ
「知らざる者」に
なるだけだ



違うって
言ってる
のに

どうして
話を聞いて
くれないの

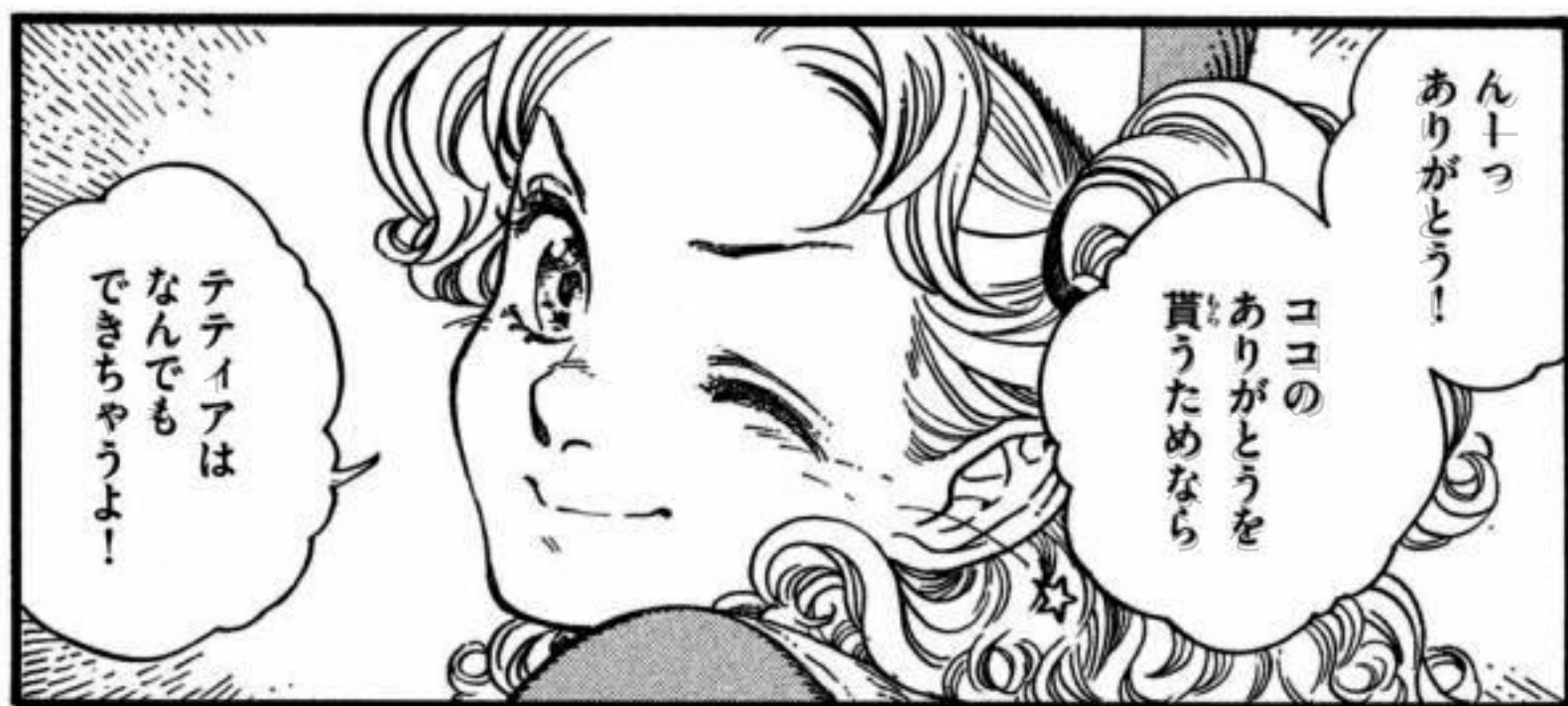


待って
ください











子供達の
話は聞かないくせに
自分はたっぷり
話すんだな

僕の弟子に
手を出さないで
くれ
イースヒース

なるほど
お前の弟子
だったのか

師によく似て
不遜な
生徒達だ







魔法使いの
果たすべき
務めを
忘れたのか



あいつらの方が
よほどその意味を
分かってるぞ

























いいのか？
イース

キーフリートの
新しい弟子って
あの子だろ

噂が
本当なら…

もちろん
放っておく
つもりはない
が…

噂を真実だと
証明できるか？

いや…
あの石化した家で
証拠を探すのは
無理だな

ならば
自由させるしか
ない

見ろ



あの魔法のせいで
下流の河が
干上がりかけて
いる

一つの落石が
岸を崩し
流れを変え

下流は
変化を
余儀なく
される



あの娘は
最初の
落石



そうして
美しかった
元の風景は

永久に失われて
しまうのだ

転がり落ちる
可能性が
あるなら

なんと少しでも
取り除かねば

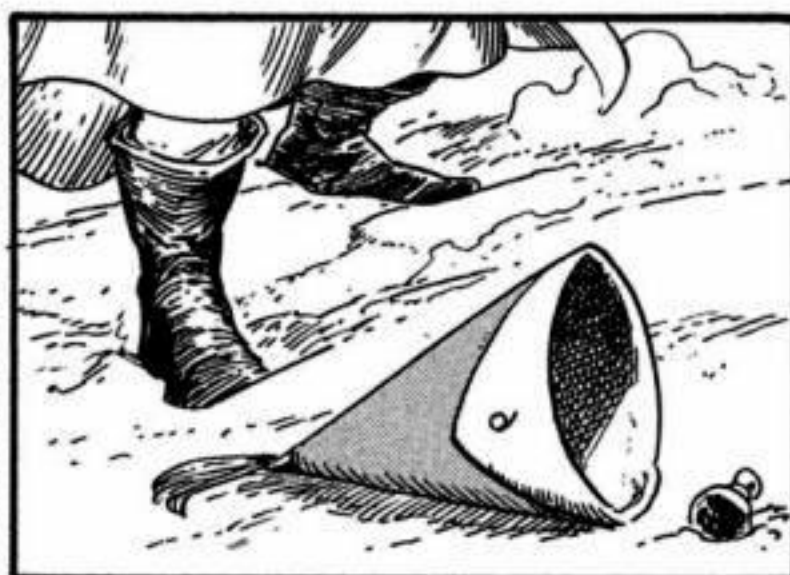
わあ…

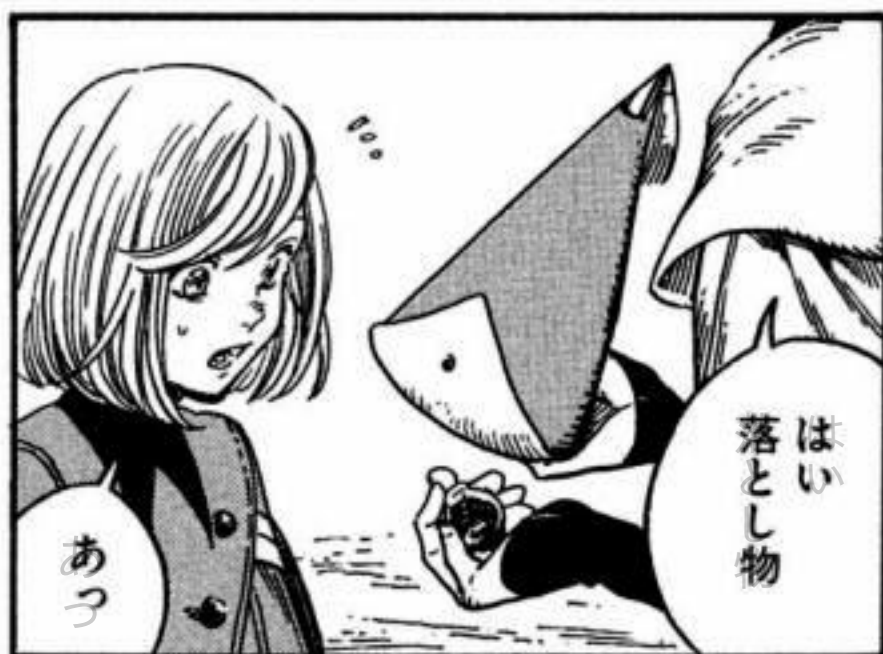
砂で出来た
橋だ…!!

オルトギオの
ペンは特殊でね

石や樹に魔法陣を
焼きつけることが
できるんだ











とんがり帽子のアトリエ



ATELIER OF WITCH n HAT





















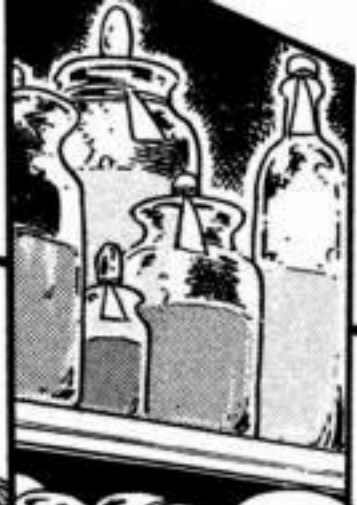












浅瀬色と
枯葉色^{かれはいろ}の間に
あるやつ!

だから
何段目の
どれだよ



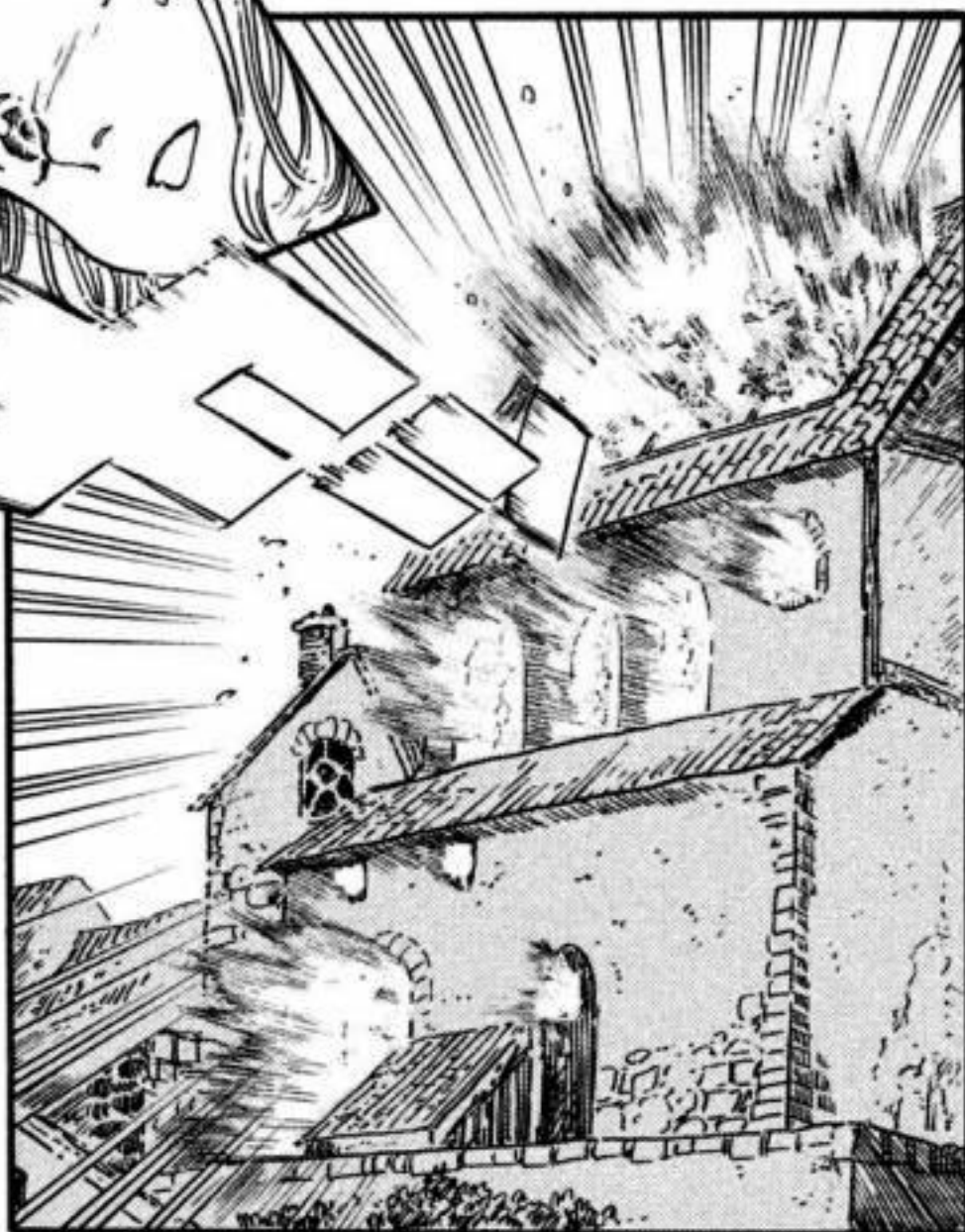
どれ?

あれ!
あの棚の

ガラ
ガラ



?
すっごく
赤くて
目立つやつ
だよ...?



わあ

ああ

あ





ラベルが
外れて
バラバラに
なってる…

じいちゃんが
整理するときに
解いてたから

触るなって
言われてたのに
めちやくちやだ



わかんない
よ！



ごめんね！
手伝うから
元の位置に
戻そう！

注文表は…
原材料しか
書いてないや



タタくんなら
何の粉か
わかるんじゃない？

どの色が
どの原材料
の—





ココが
手伝えることは
何もないよ

人には
出来ることと
出来ないことが
あるんだ



銀彩症の
俺の目じゃ

いくら勉強しても
魔法使いには
なれないように



ほれ

言わん
こつちやない!

キーフリー?
大丈夫かね

うう...

キーフリー!

あんな小さな
灯りの魔法陣で
あの規模の
威力とは…

…これは
恐らく
双子瓶の
魔法です

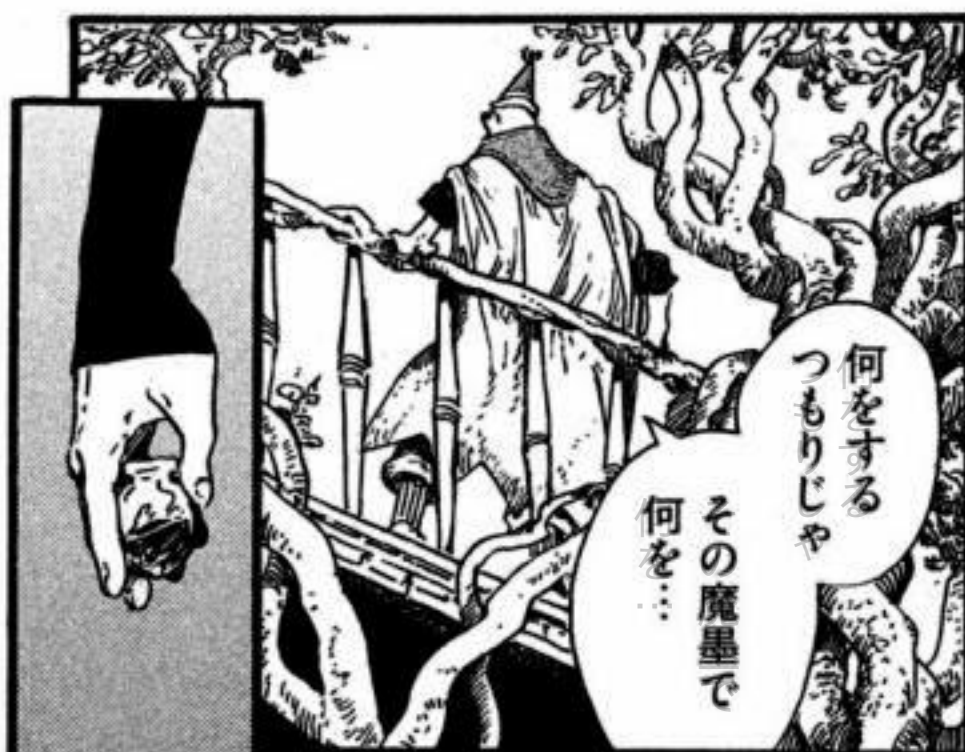
入れ物は二つ
中身は一つ

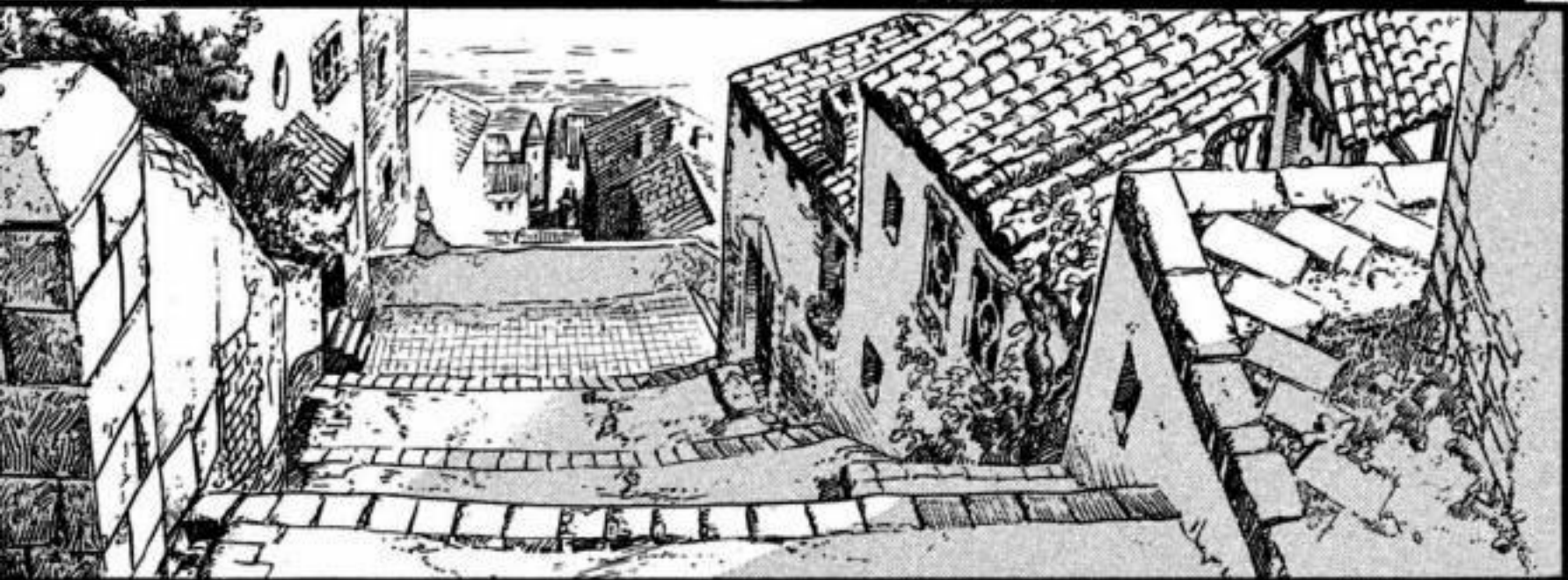
きっと魔法陣が
彫られた小さな
ガラス片が
沈めてあるはず

ココはこれを
使わされたんだ

減った分だけ
増えたのは
謎の混ぜ物で
補充したから…！



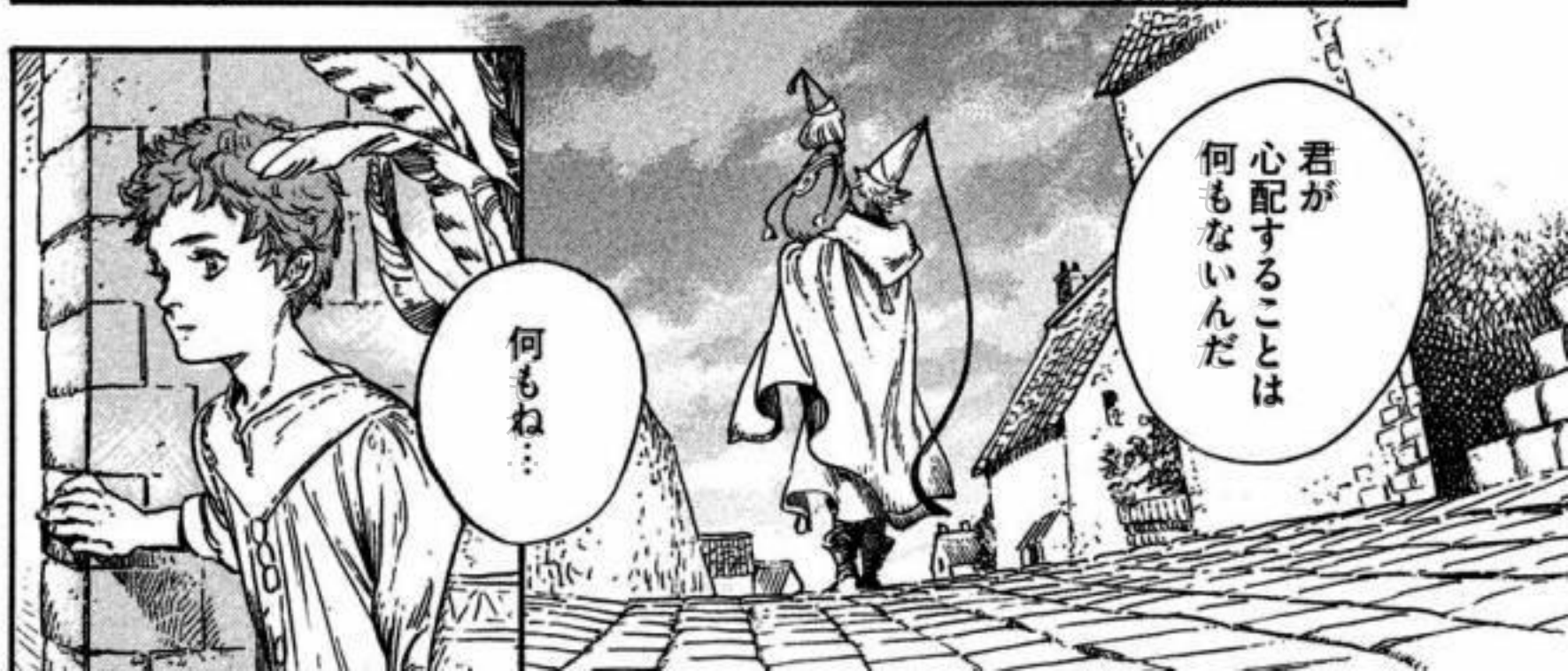














とんがり帽子のアトリエ



ATELIER OF WITCH n HAT

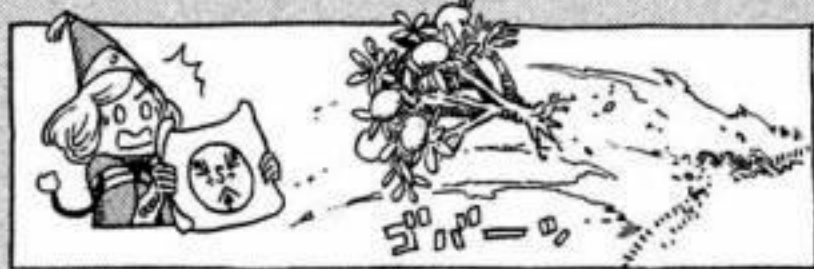












「引き寄せの矢」に
角度をつけて
ねじれさせたら？



ほら
リンゴって
取る時に
もぎるでしょ？



いい
工夫だね

目的に合わせて
矢を変えれば
魔法はいくらでも
応用がきくんだよ



失敗したら
理由を
探して

成功しても
何でだろう？って
考える！

繰り返しの練習は
ダメなところ考えて
探すため！

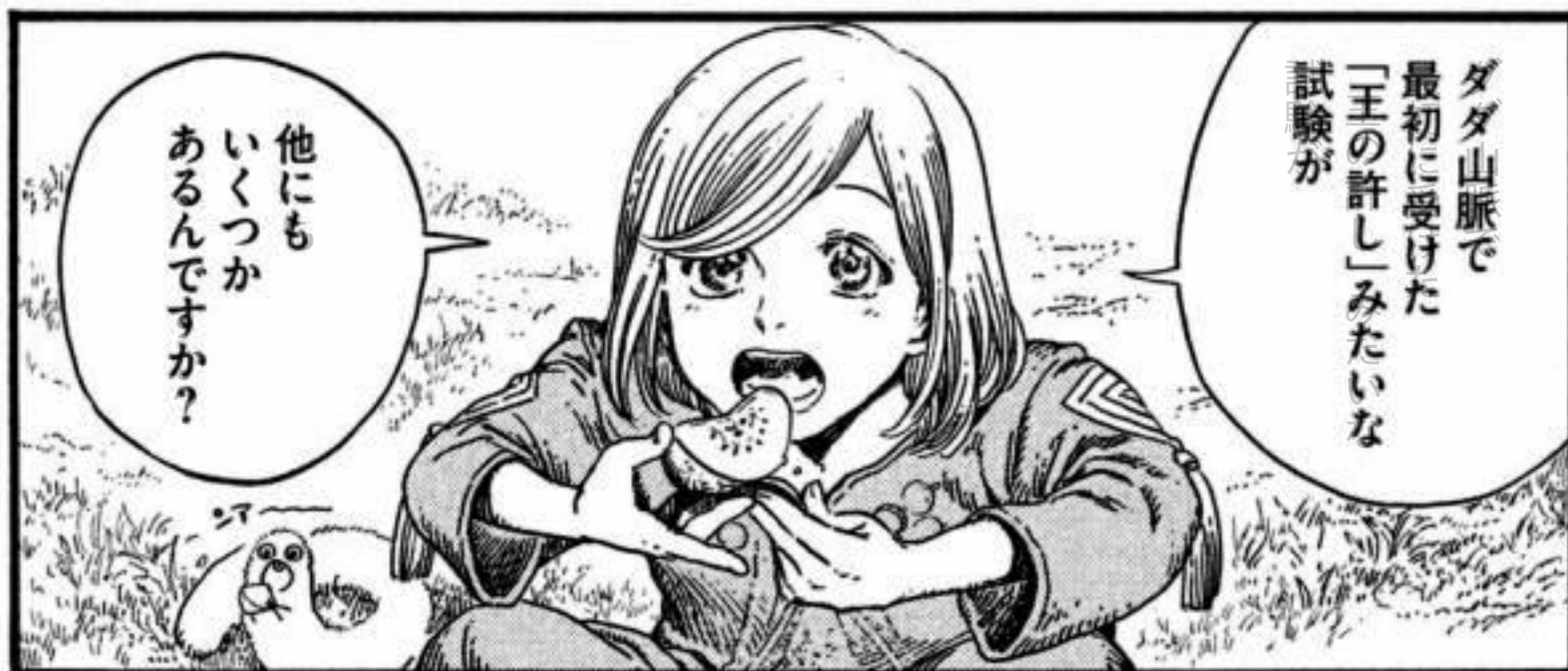
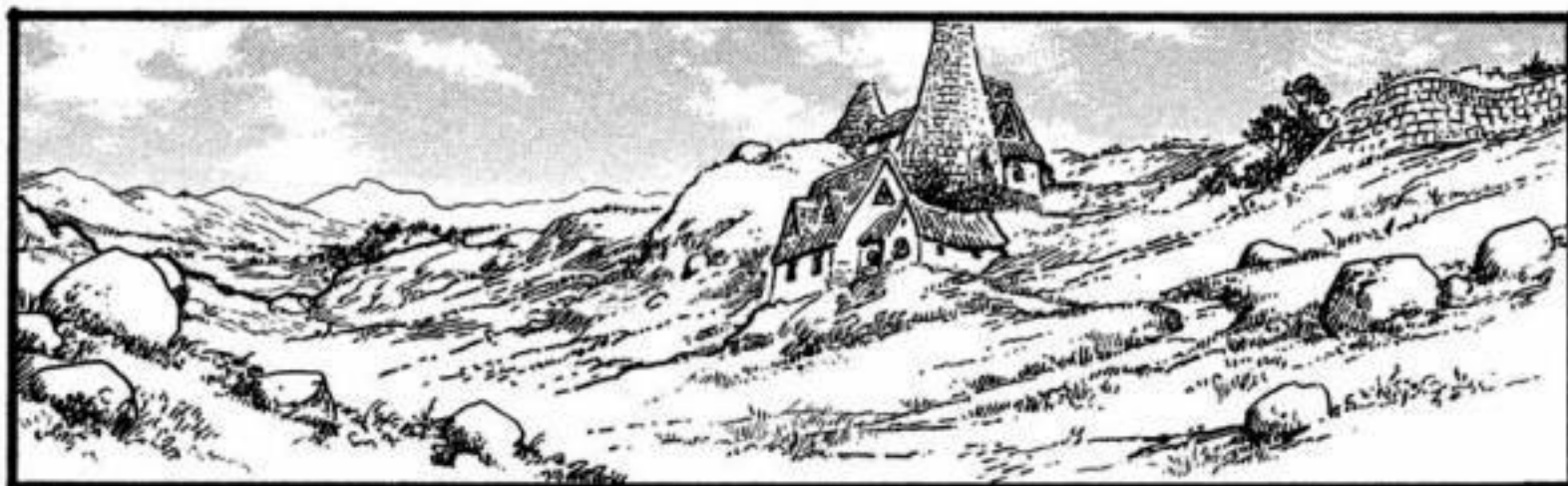


情性じゃない
復習が大事
なんだよね！

ねっ
先生！







「許しを
貰いて
弟子となり」

第1の試験
王の許し

「忠義を
示して
師と歩む」

第2の試験
騎士の忠誠

第5の試験
賢者の教示

「其の道
正しくば
鍵を得て」

第3の試験
門番の問い

「望みを
叶えて
一人立つ」

第4の試験
女王の祝福

五芒星試験
結託の地ノザ半島



「教示を
与えるのは汝……
これが魔法使いの
五芒星試験



先に進むごとに
魔法で出来る仕事
許されることの範囲が
増えていって

「女王の祝福」で
一人前と認められ
師のもとを卒業する

図書の塔に
挑めるのは
「門番の問い」を
終えてからだ



あ……

図書の
塔って

たしか
湖の中に
あったはず……

最後の一つは
弟子を取るための
試験だし卒業も
まだ考えなくても
いいけどね

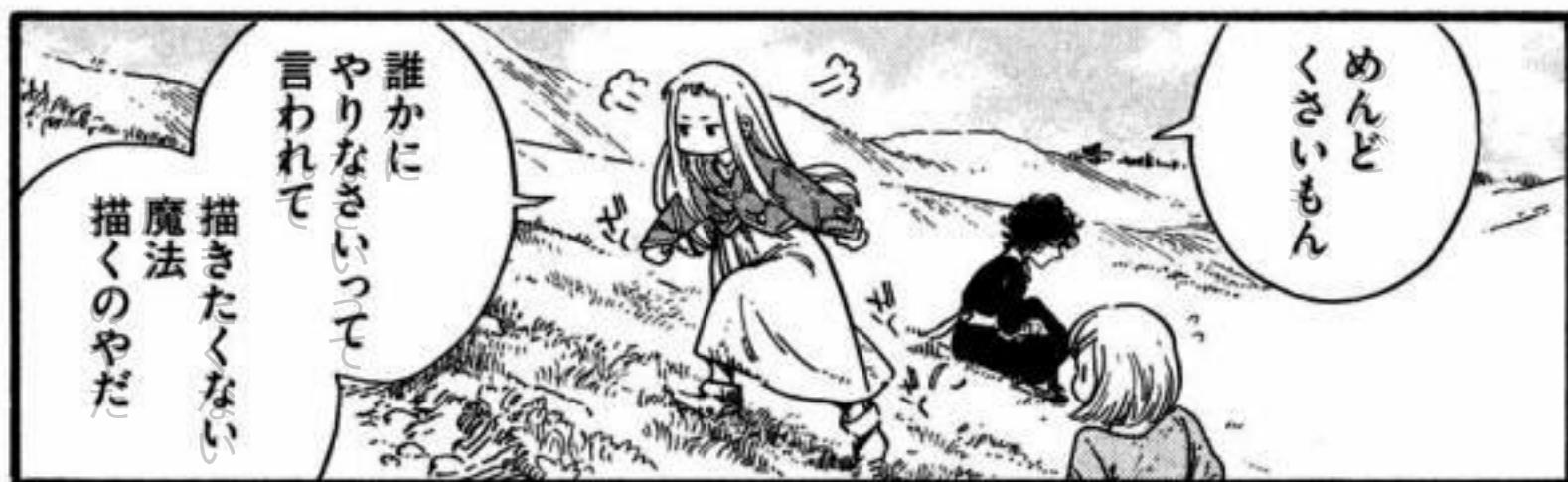
えー？

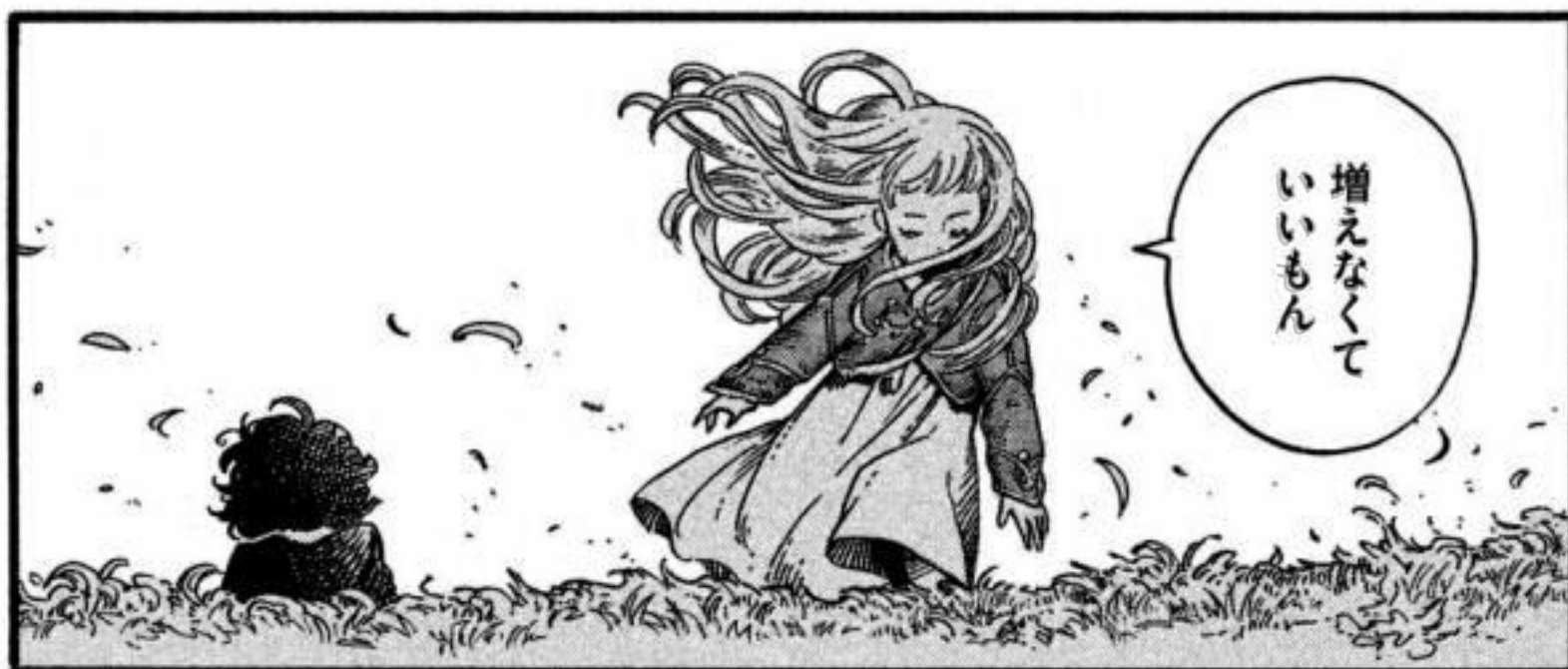
テティアはね！
卒業したあとのこと
よく考えるよ！

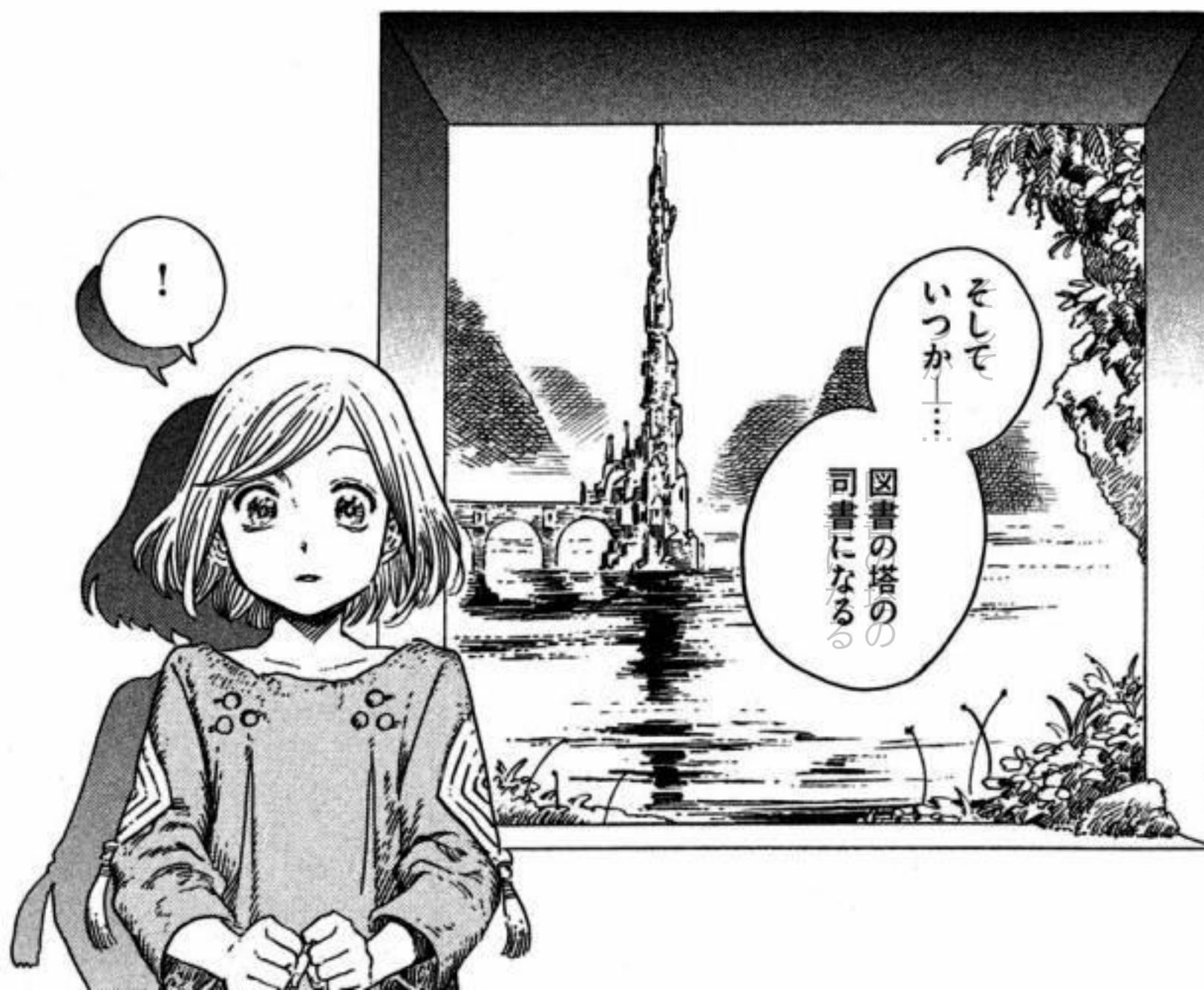
すごーく
遠くまで旅をして
魔法でいろんな人を
助けて

世界中の言葉で
ありがとうを
聞きたいんだ















あれ？

みんなは？

もう暗い
いつ夜に
なったんだろう







普通の
人間には
無理なのよ



何も知らない
「知らざる者」

!?



お母さん…
お母さん…



全部
あなたの
せいよココ

母親を石に
変えたのも
私たちが危険に
巻き込んだのも

そんなつもりは
なかったって
言うんでしょう

「つばあり帽」に
関わるのは
ごめんだね

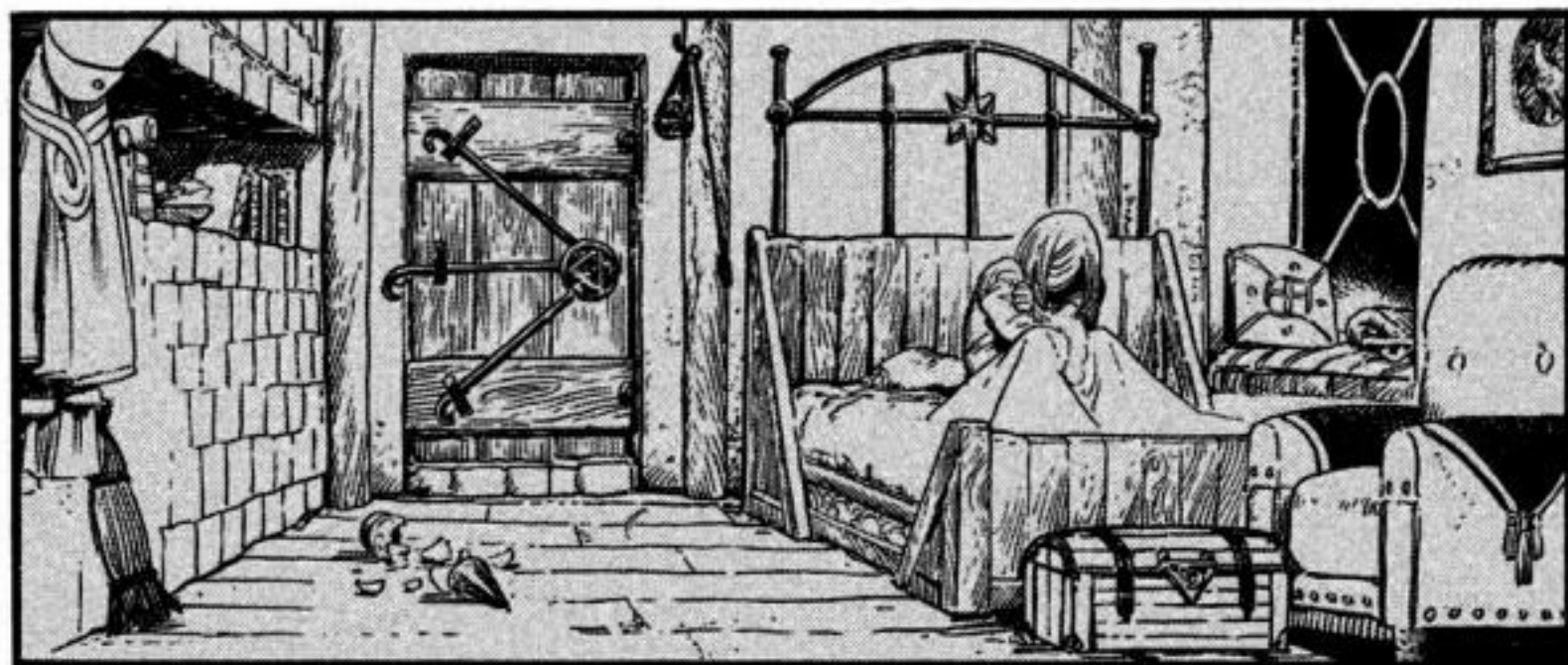
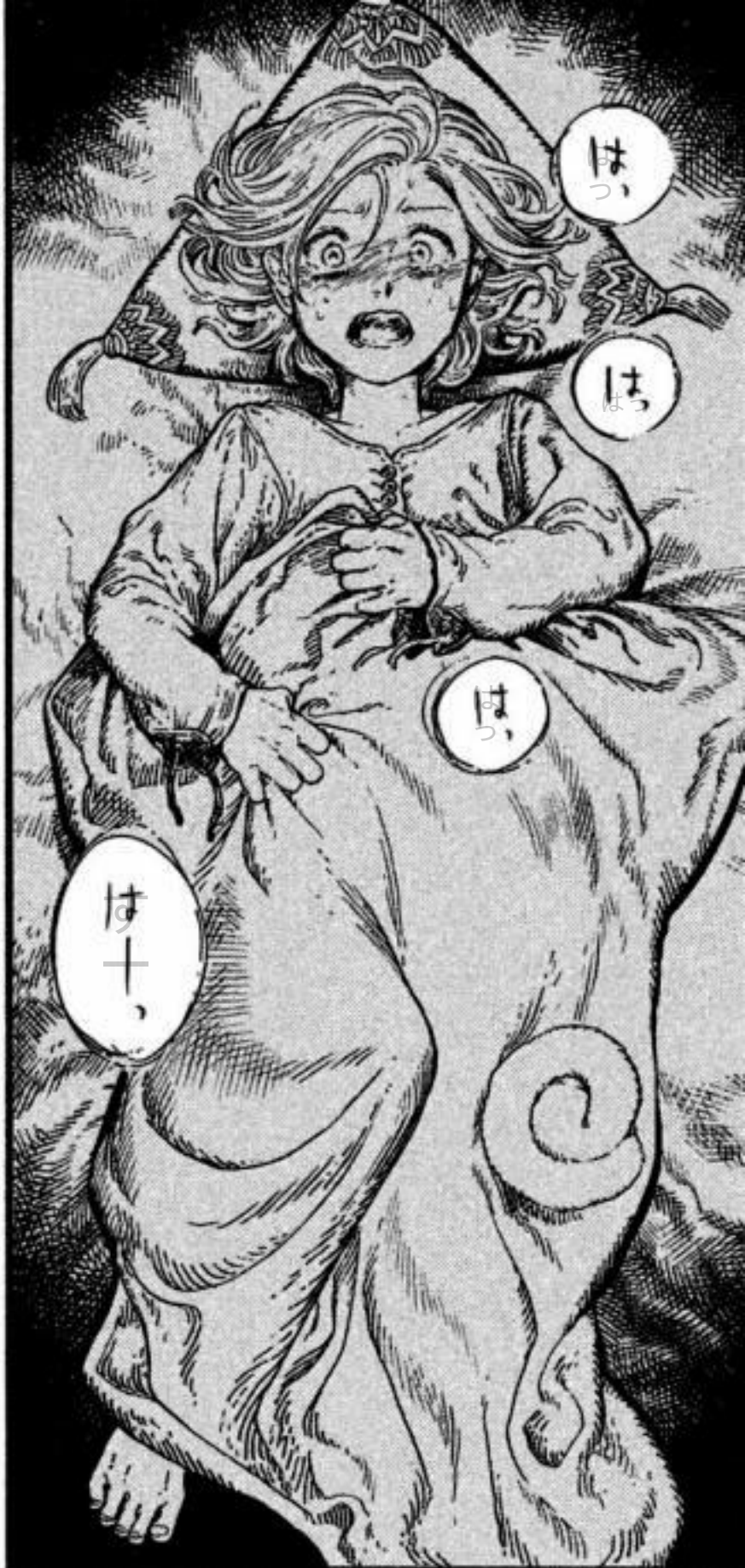
人には
出来ることと
出来ないことが
あるんだ

例外は
例外は
存在しては
ならない……

こうならない
ために
隠されて
いたのにさ

















とんがり帽子のアトリエ



ATELIER OF WITCH n HAT





《第15話》

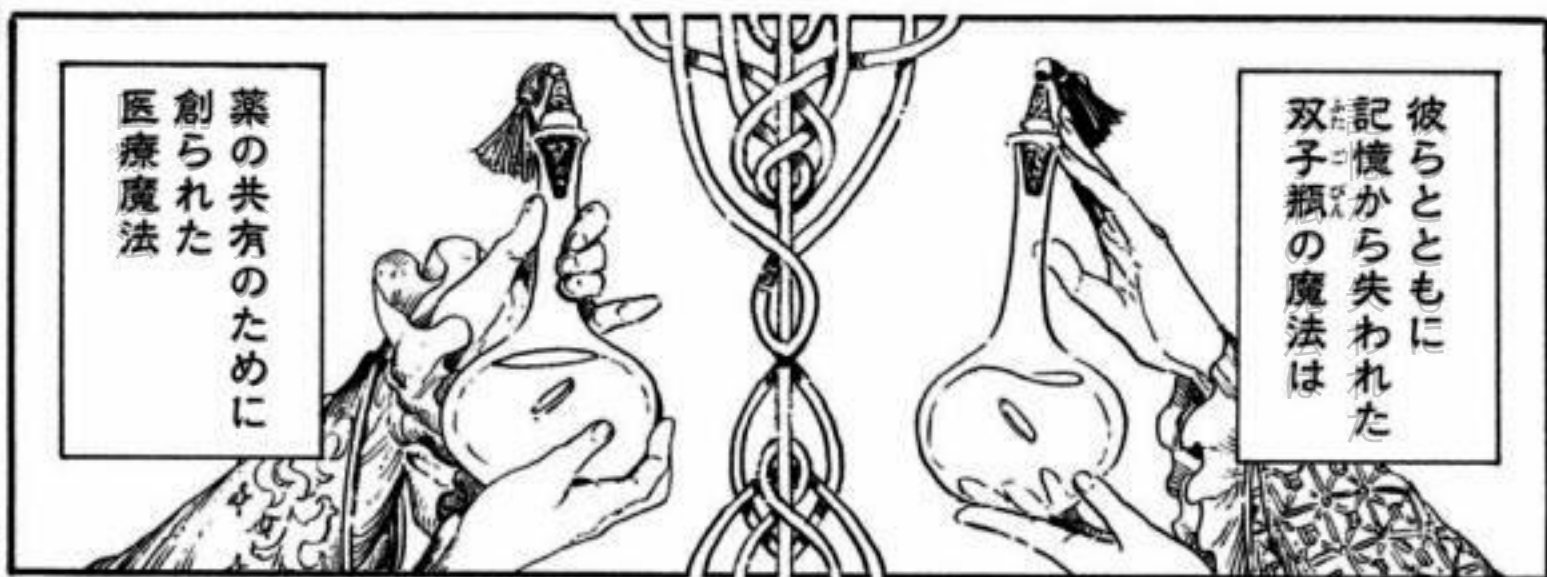
人体にかける魔法を
禁止とする
三賢者の選択に
最後まで抵抗
したのは

癒やしのための
魔法を使う
善き魔法医たち
だった



彼らとともに
記憶から失われた
双子瓶の魔法は

薬の共有のために
創られた
医療魔法



たとえ片方が
遠くはなれた
地にあっても

陣が刻まれた
メダルを介して
その中身は
共有され

必要なものが
空になることは
なかったという…



「結託の日」以来
失われて久しい
古き繊細な
医療魔法器

創り出せるのが
「つばあり帽」とは
皮肉だな

美しい魔法だけど
解体させて
もらうよ

奴らと
つながる。
唯一の道だ

魔墨にはまだ
手をつけない…
未知の力は
危険だから

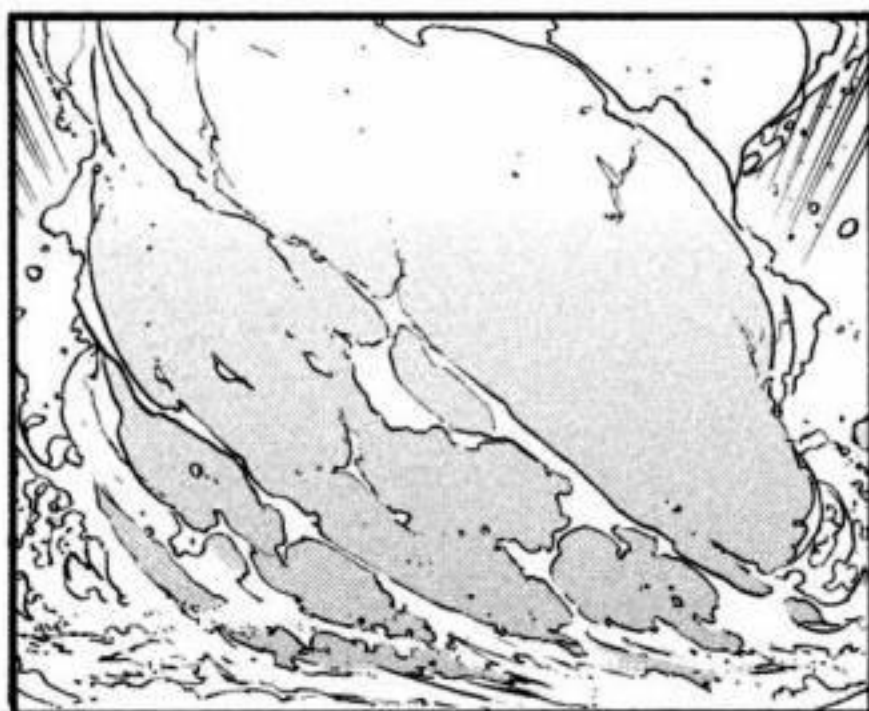
用があるのは
魔法陣が刻まれた
瓶の中に隠された
メダル

向こう側に
バレないように
取り出せるか…?

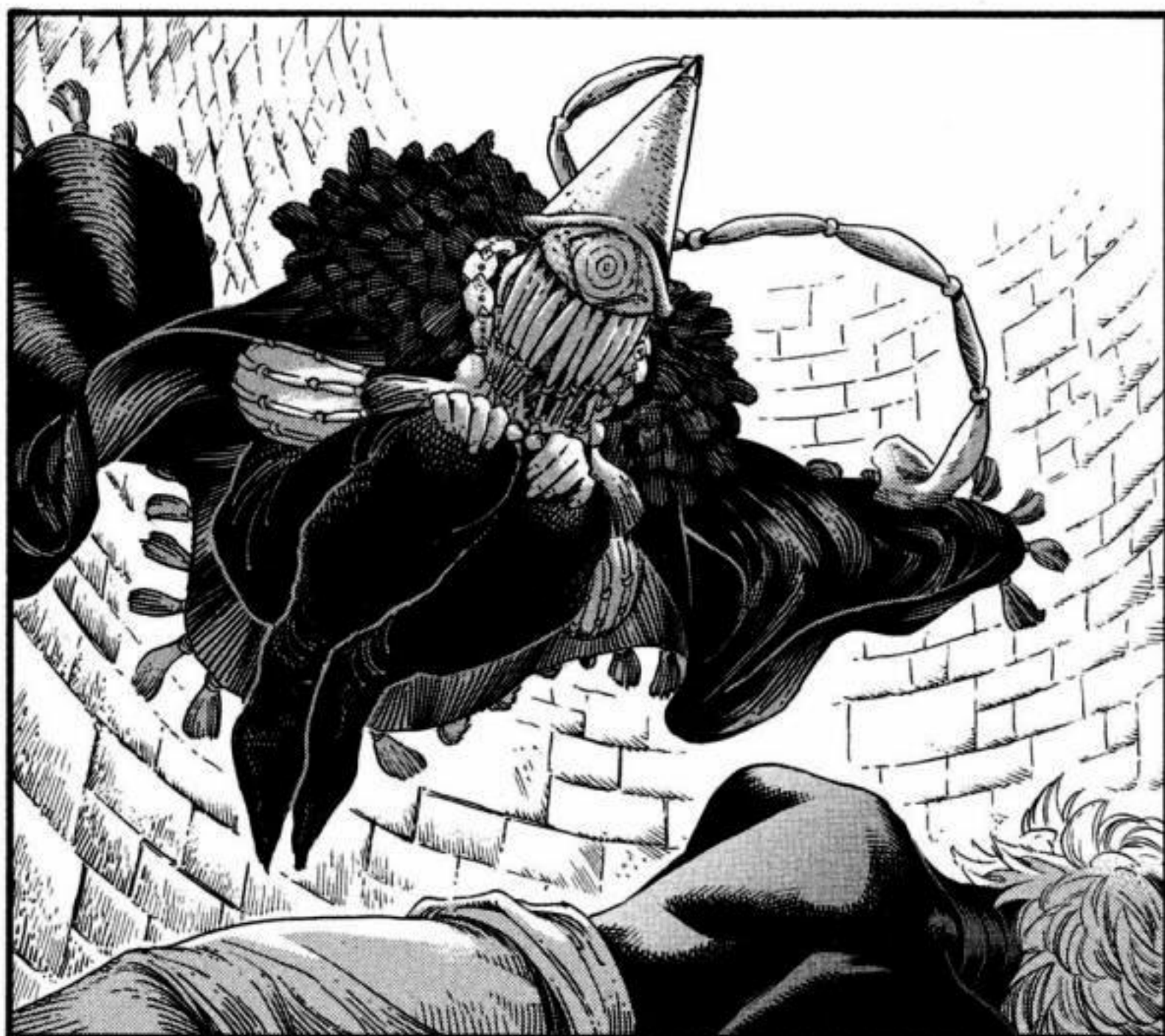


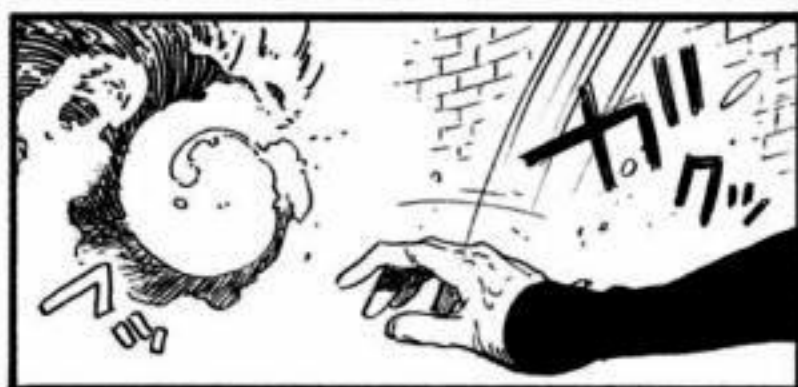




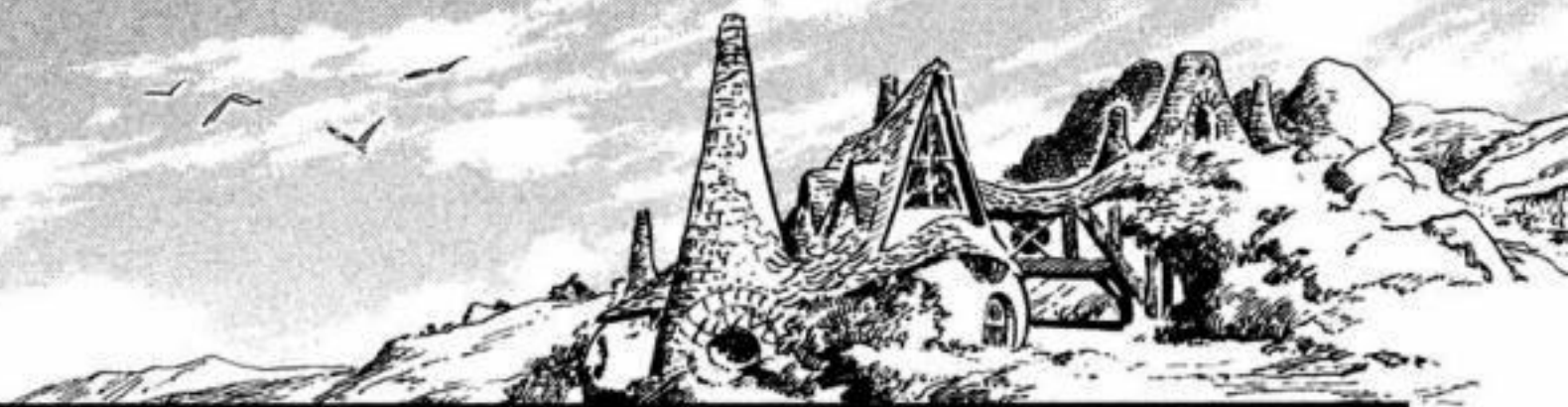








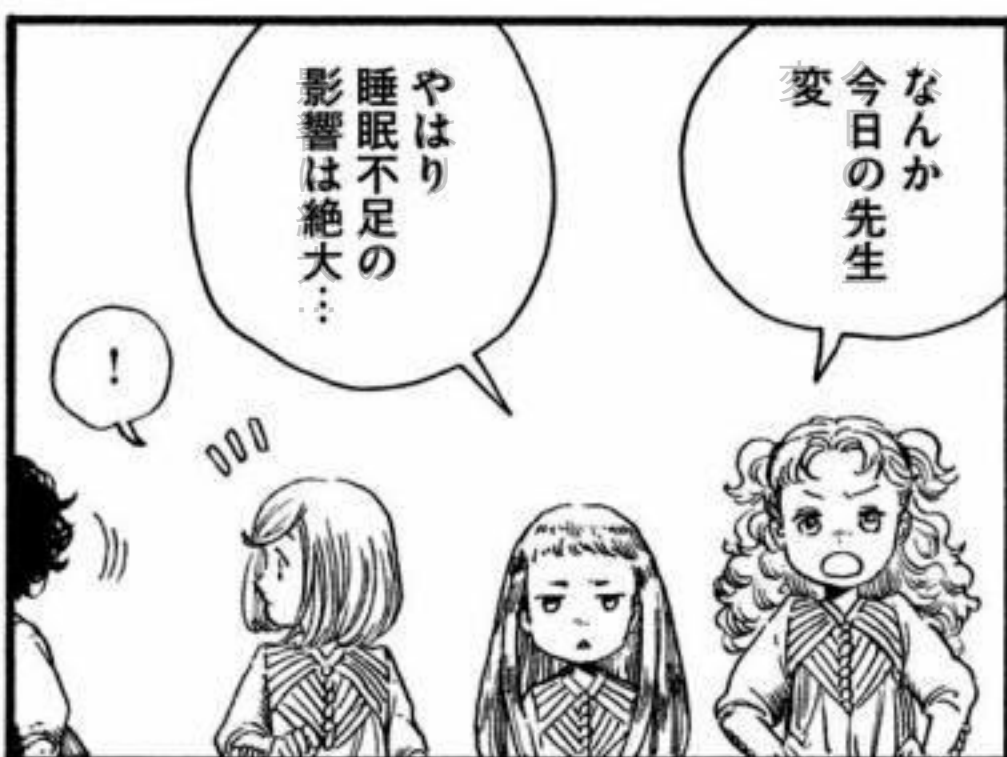
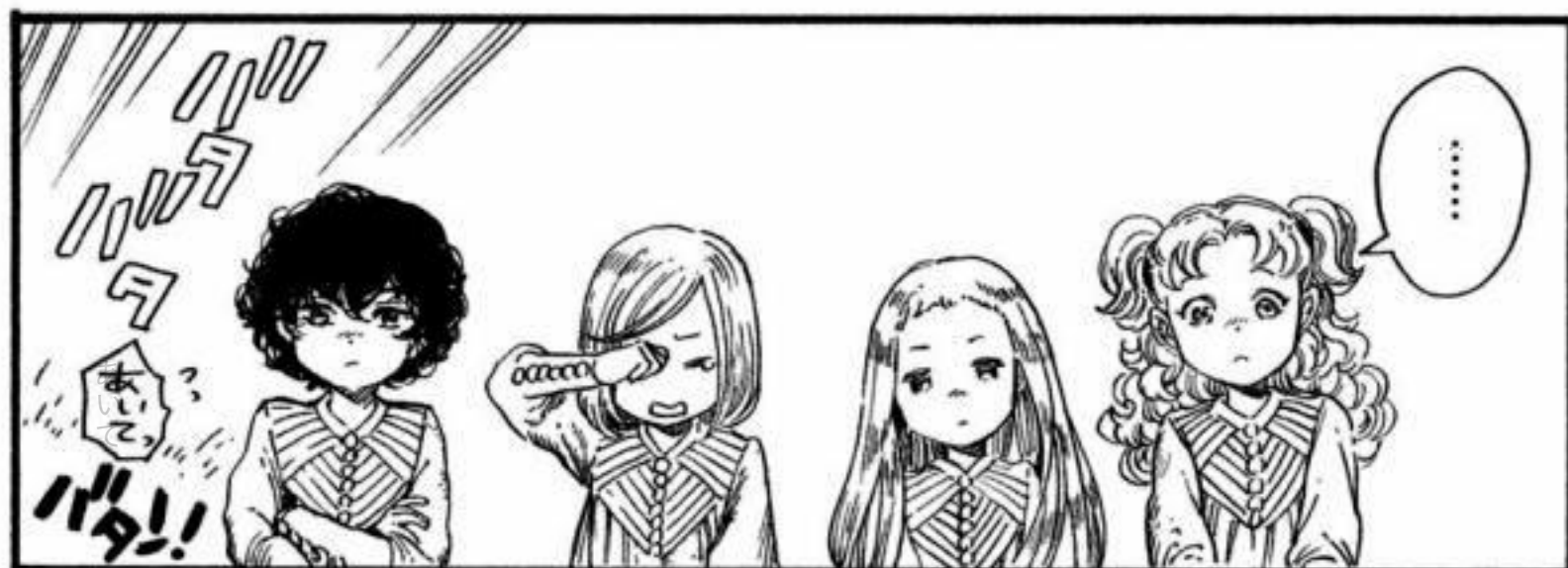


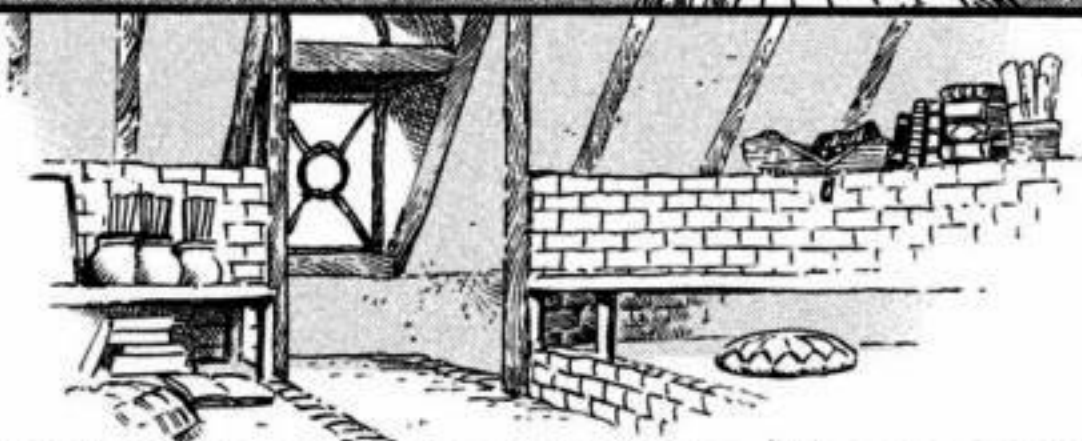
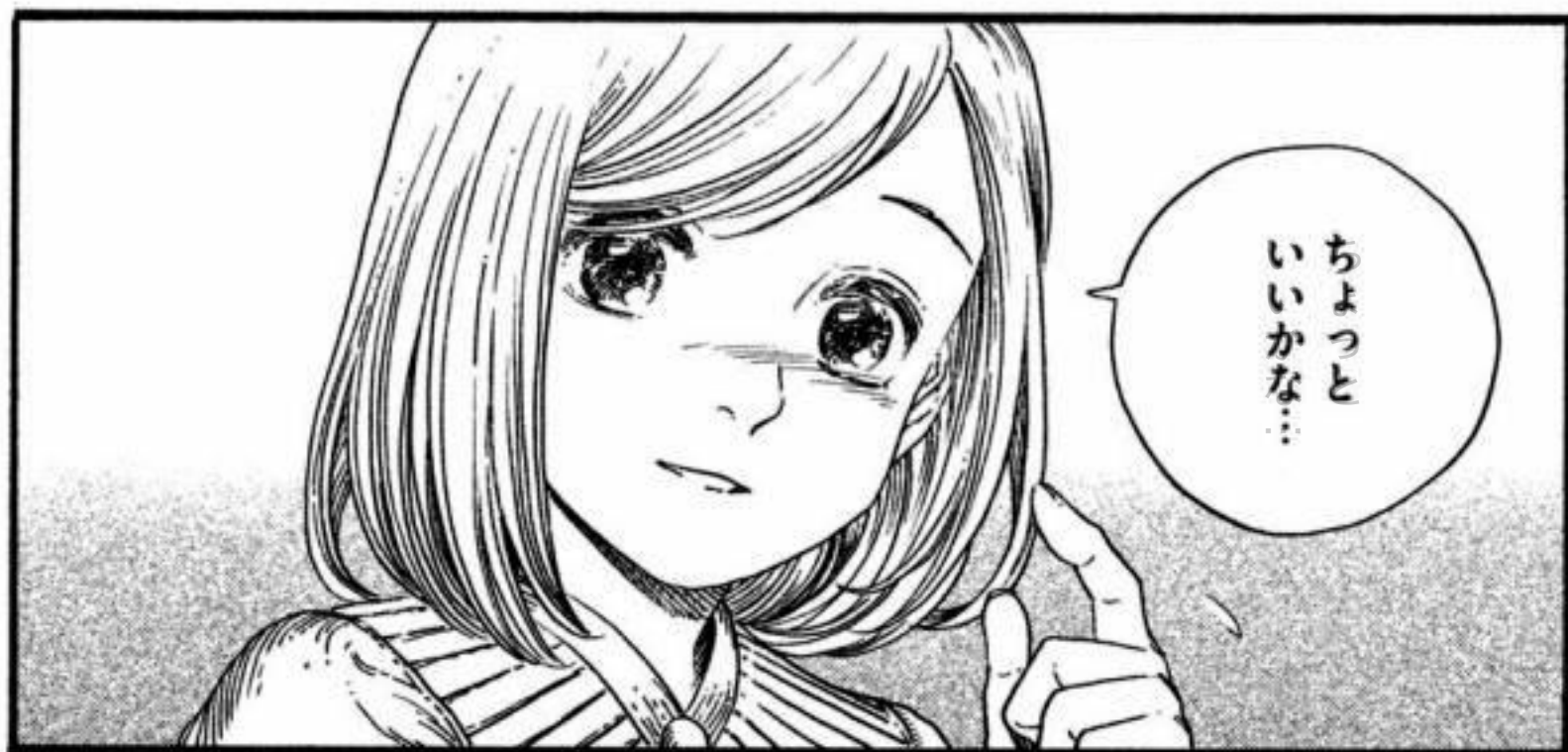














はいてみて
飛びにくかったら
描き直してね







あのまま
何もしないで
迎えを待つことも
できた



あのとき
ダダ山脈の
麓に立って

挑もうって
決めたのは
自分だもん



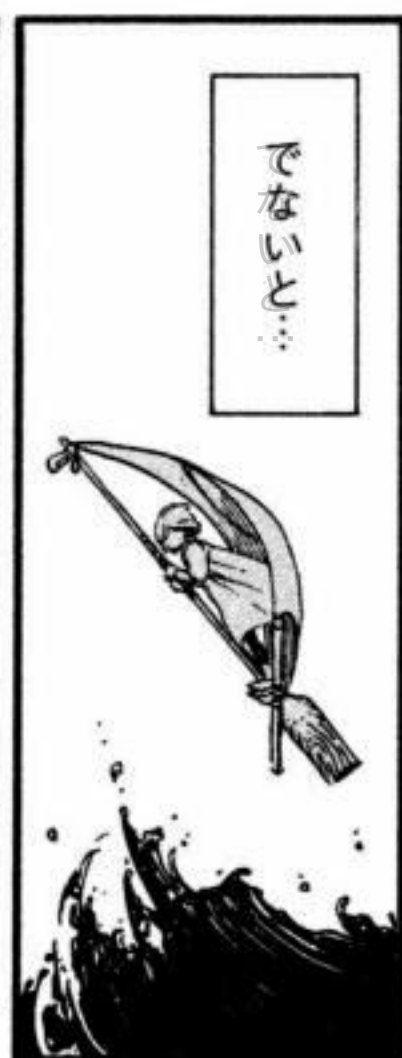
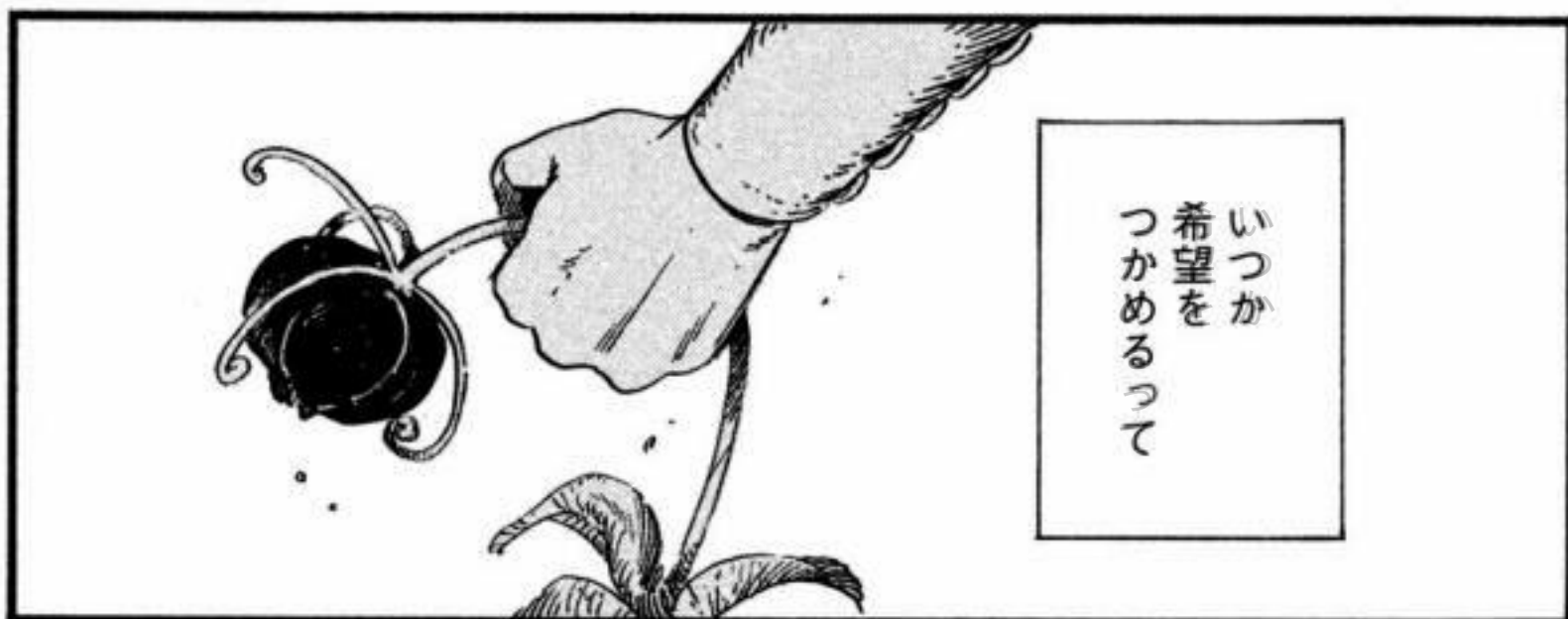
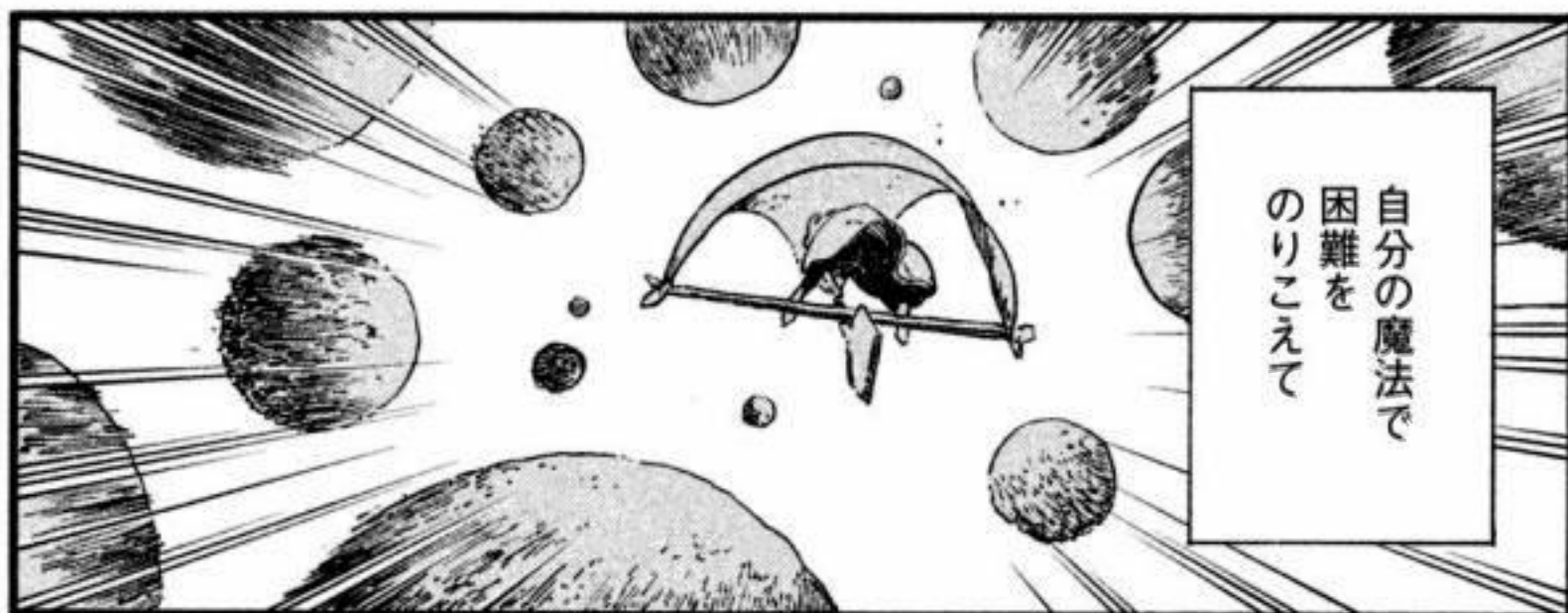
大丈夫

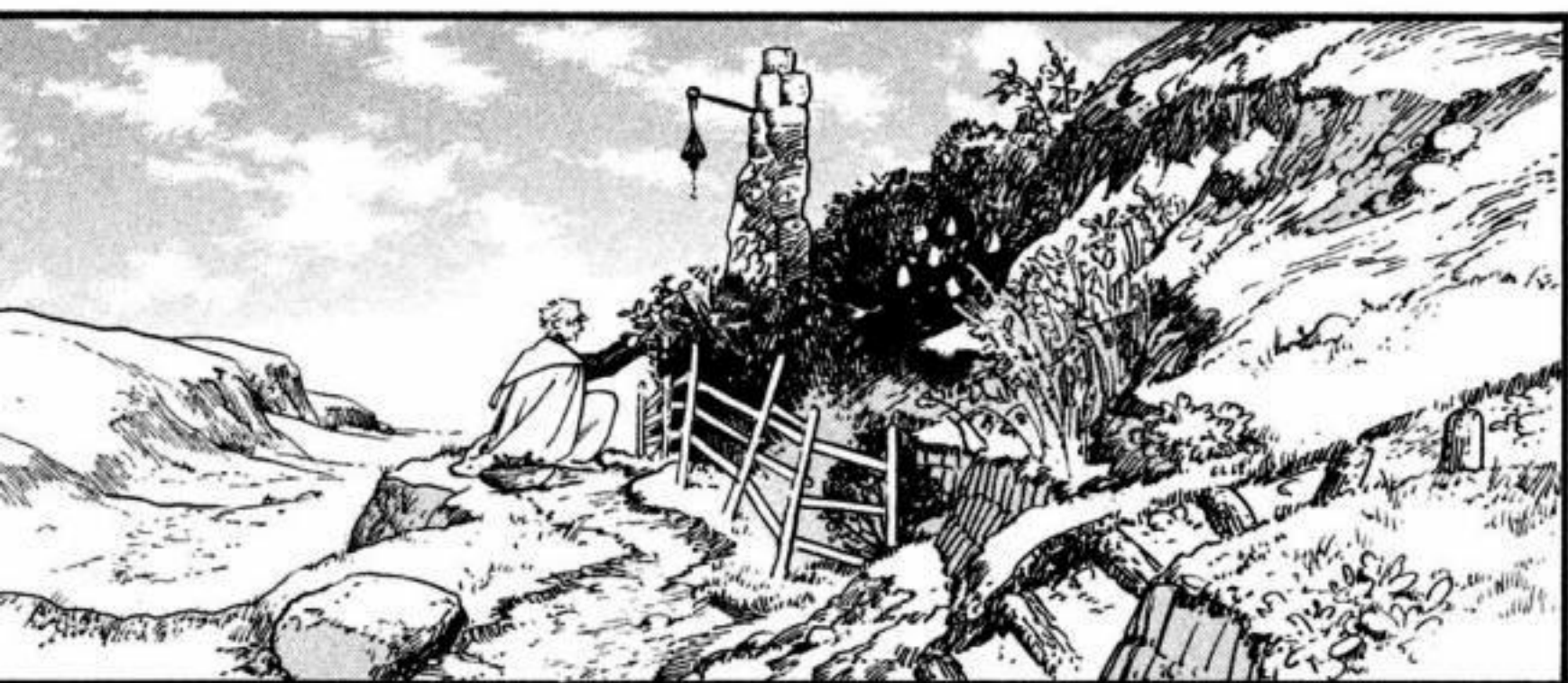
できる
って

これで
証明に
なったよね

証明した
かったのは
きつと
自分自身









名前が
気に入らない
って顔だね

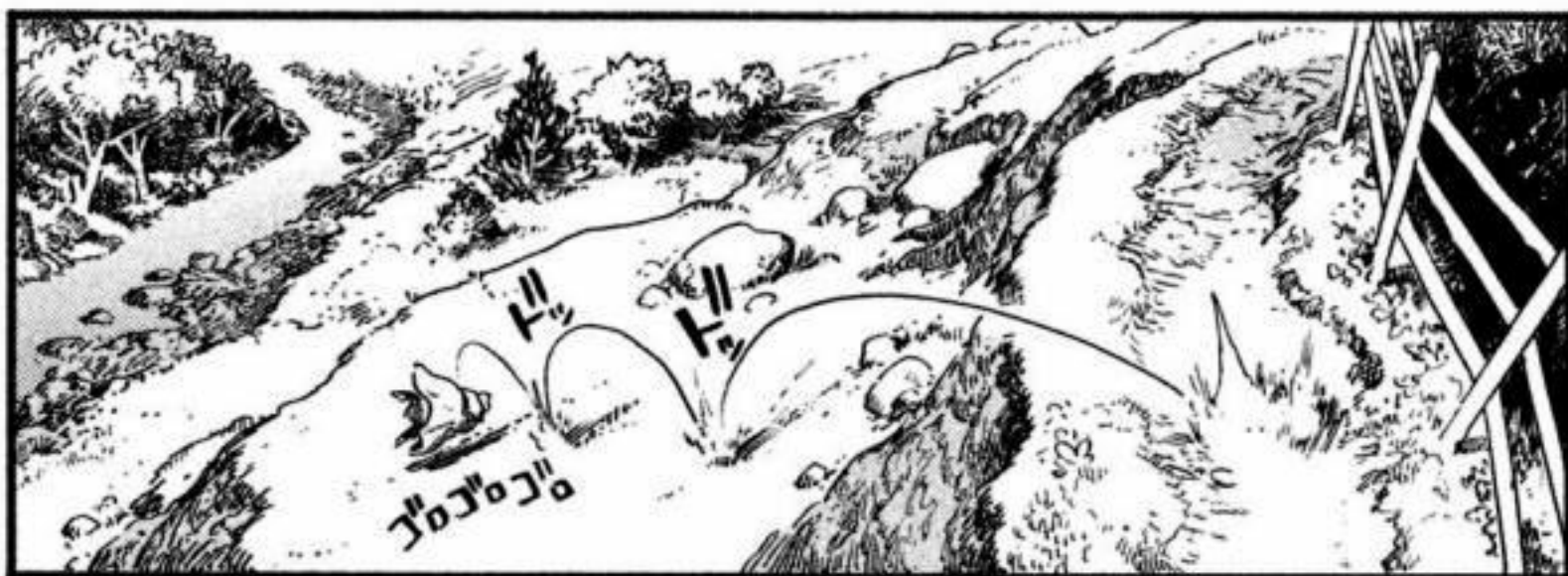
ンビッ!

えー
かわいいと
思うんだけどな
フンフン

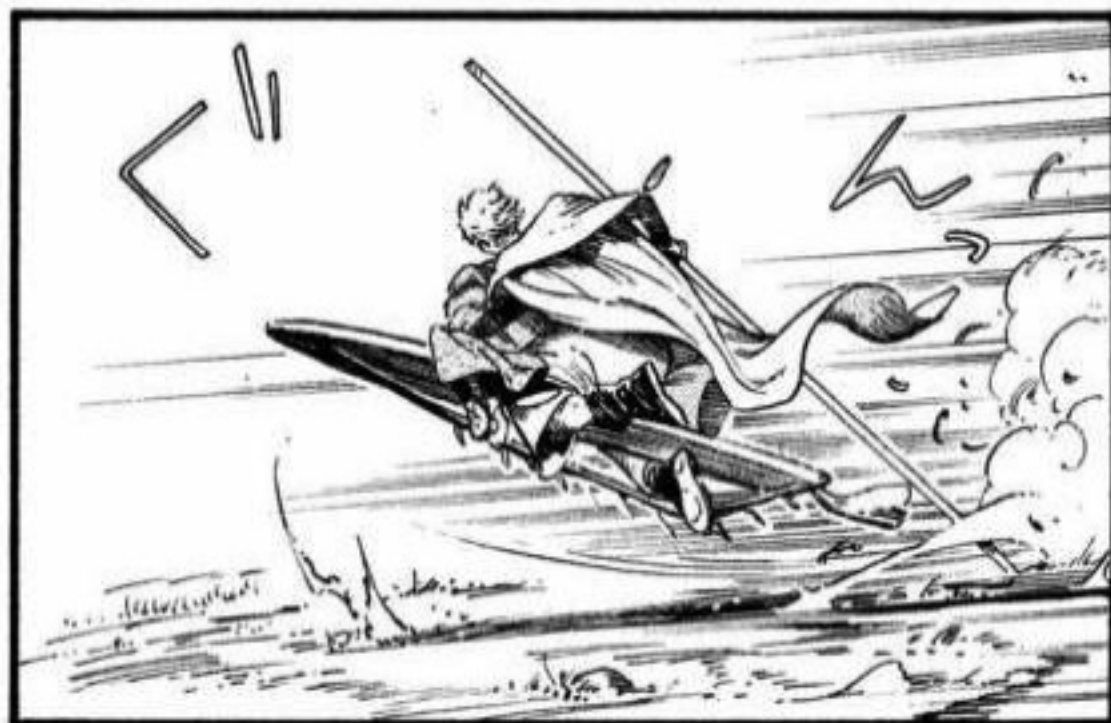
ンビンビ

そんなに
嫌?

先生





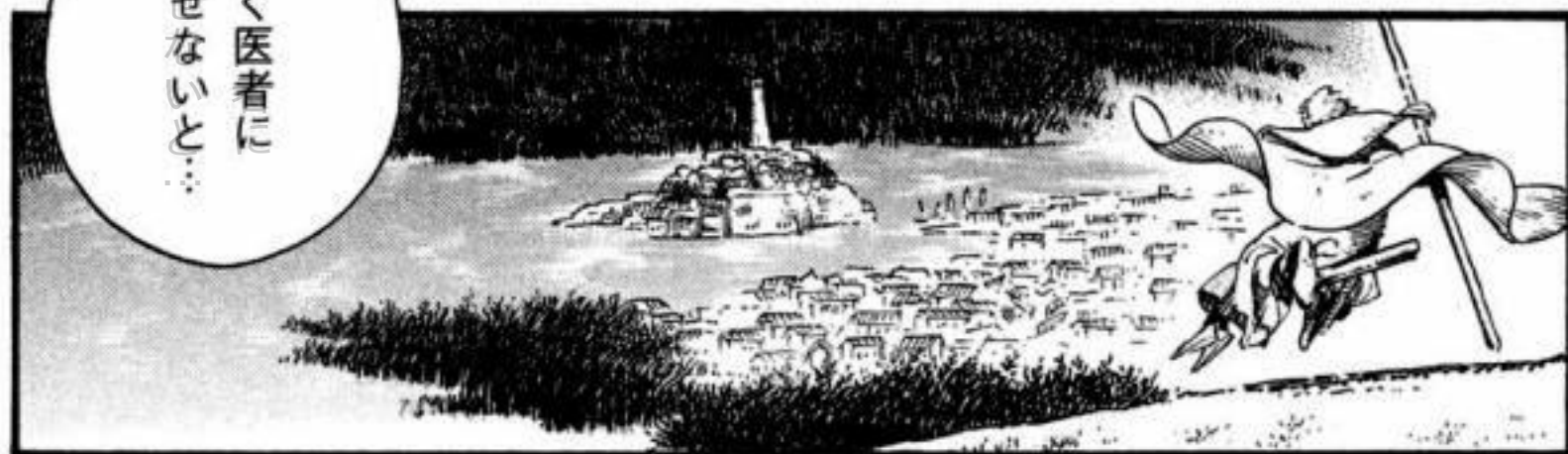


がんばって

カルンの
病院まで
もう少しだ

熱がさらに
上がってる

早く医者
に診せないと……



あれ？
タタ
もう帰るの？

ごめん

渡り船の
時間が
あるから

そっか
お前ん家
中洲の島だっけ



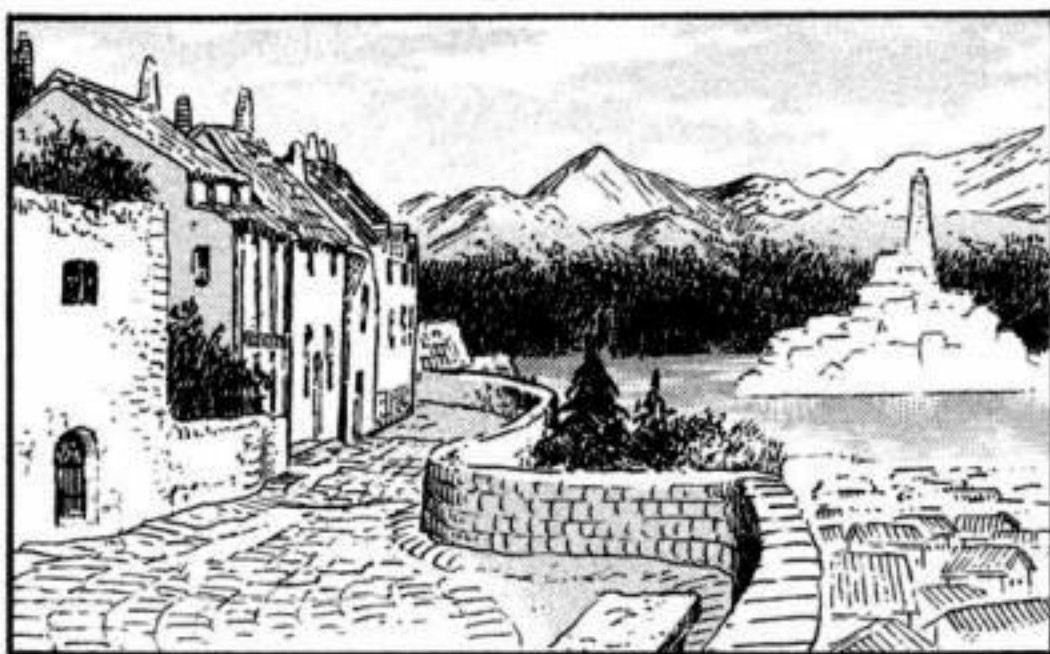
変なの！
魔法使いの一族なら
お前も飛んで帰れば
いいのに

な……









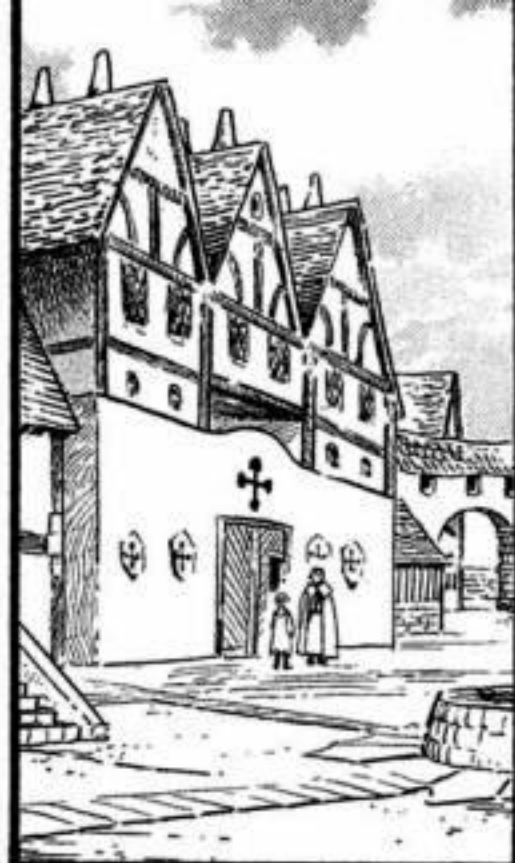


とんがり帽子のアトリエ

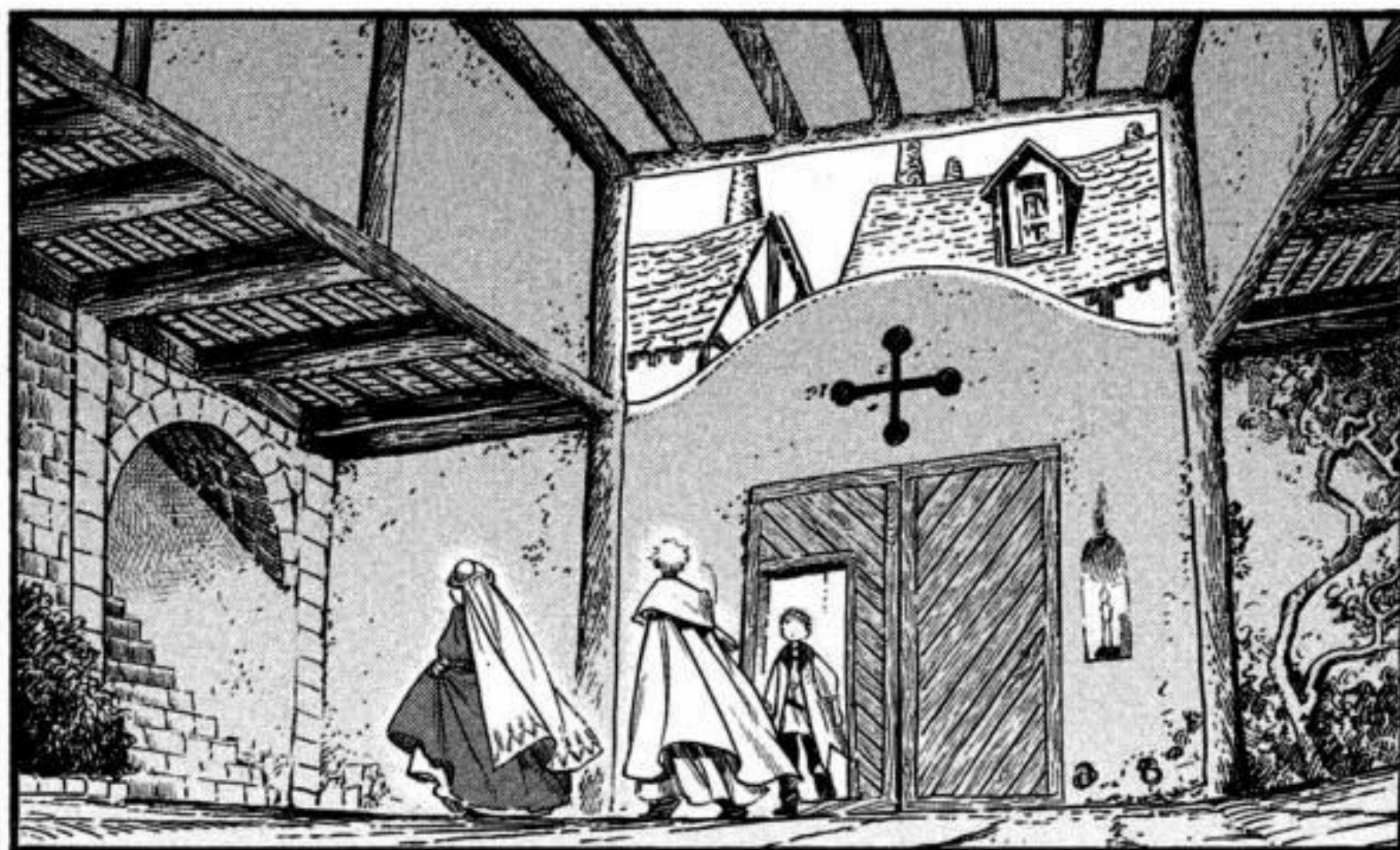


ATELIER OF WITCH n HAT

















知らなかった…？
うわさの
「知らざる者」!?

まさか
こいつが…？



やっぱり
今は
ちよつと…



タータくん



何か僕に
聞きたいことが
あるようだった
けど

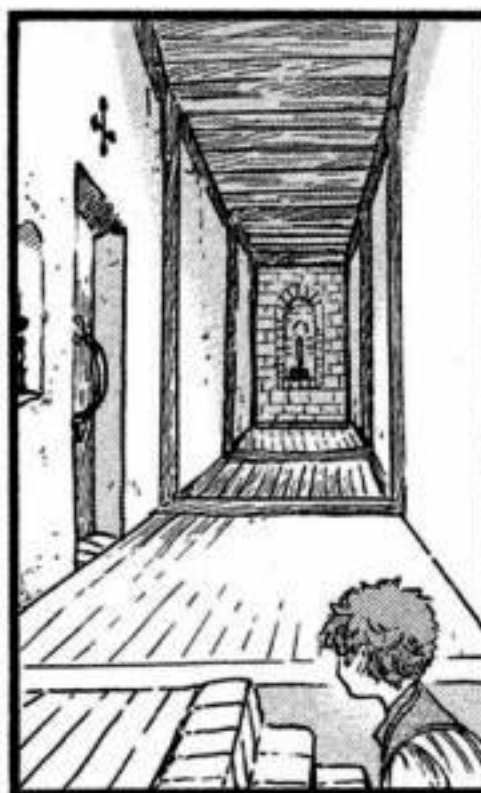
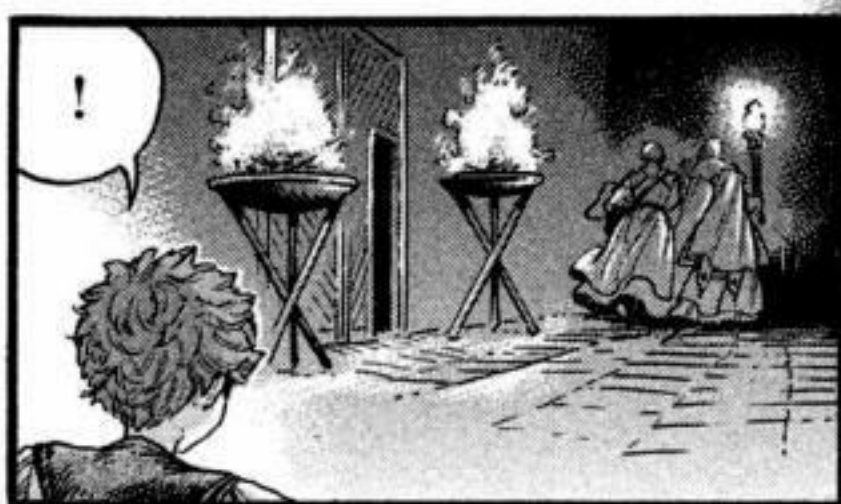
また今度で
いいかな



















ちよつとずつ
濃さが違う
気がする

他の人は
色が違うから
判別できるのか？



うそだろ!!
薬はラベル
つけとけよ!

間違えたら
やばいだろ
どうして…



また
これだよ

皆が皆
同じ世界を見てて
当たり前だと
思ってるんだから…



杖削りが
上手で
助かったな

魔材屋としても
半人前にしか
なるまいよ

銀彩症じや
染粉を使った
複雑な魔法は
無理だな

子供のうちは
よくてもねえ…



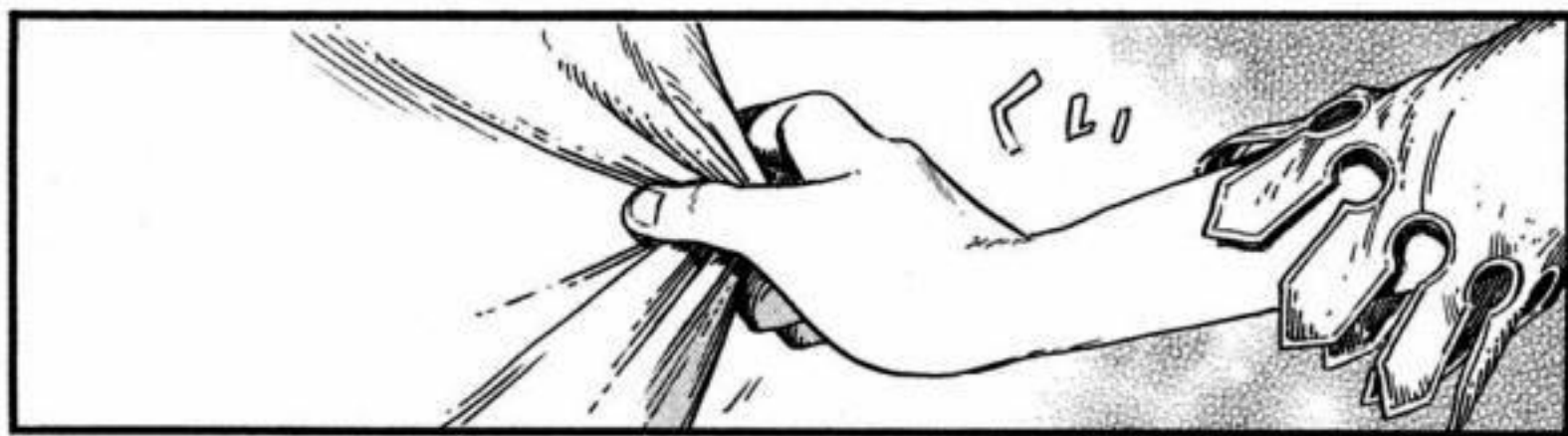
人には出来ることと
出来ないことが
あるんだから

くっそお……！

出来ることだけ
やればいいのさ



肝心な時に
何も出来ない





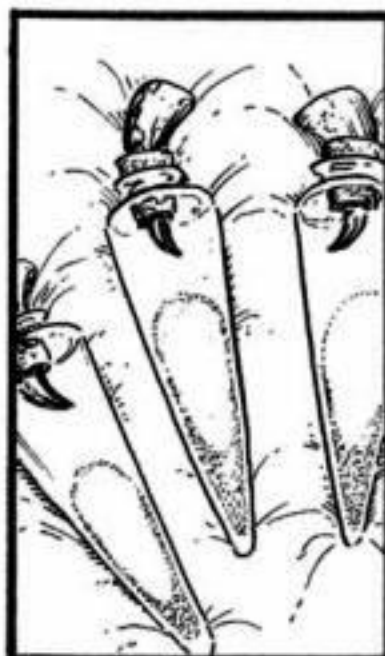


混ぜてる物が
分かるかも…!

いたわり草は
粉末薬だ
乾燥させて
すりつぶす

だから
粉状のものを
探せば…!

水を分離して
結晶化するやつは
違う…

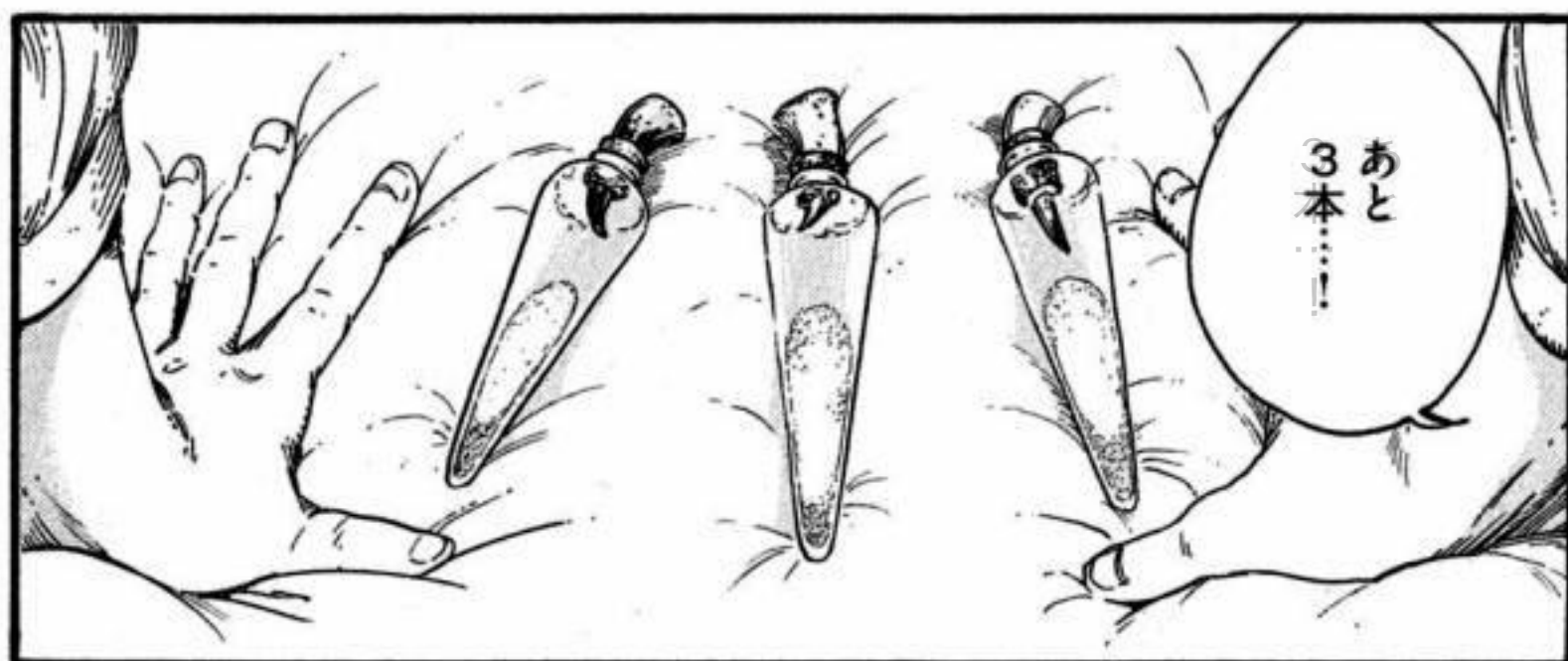


ラ—=

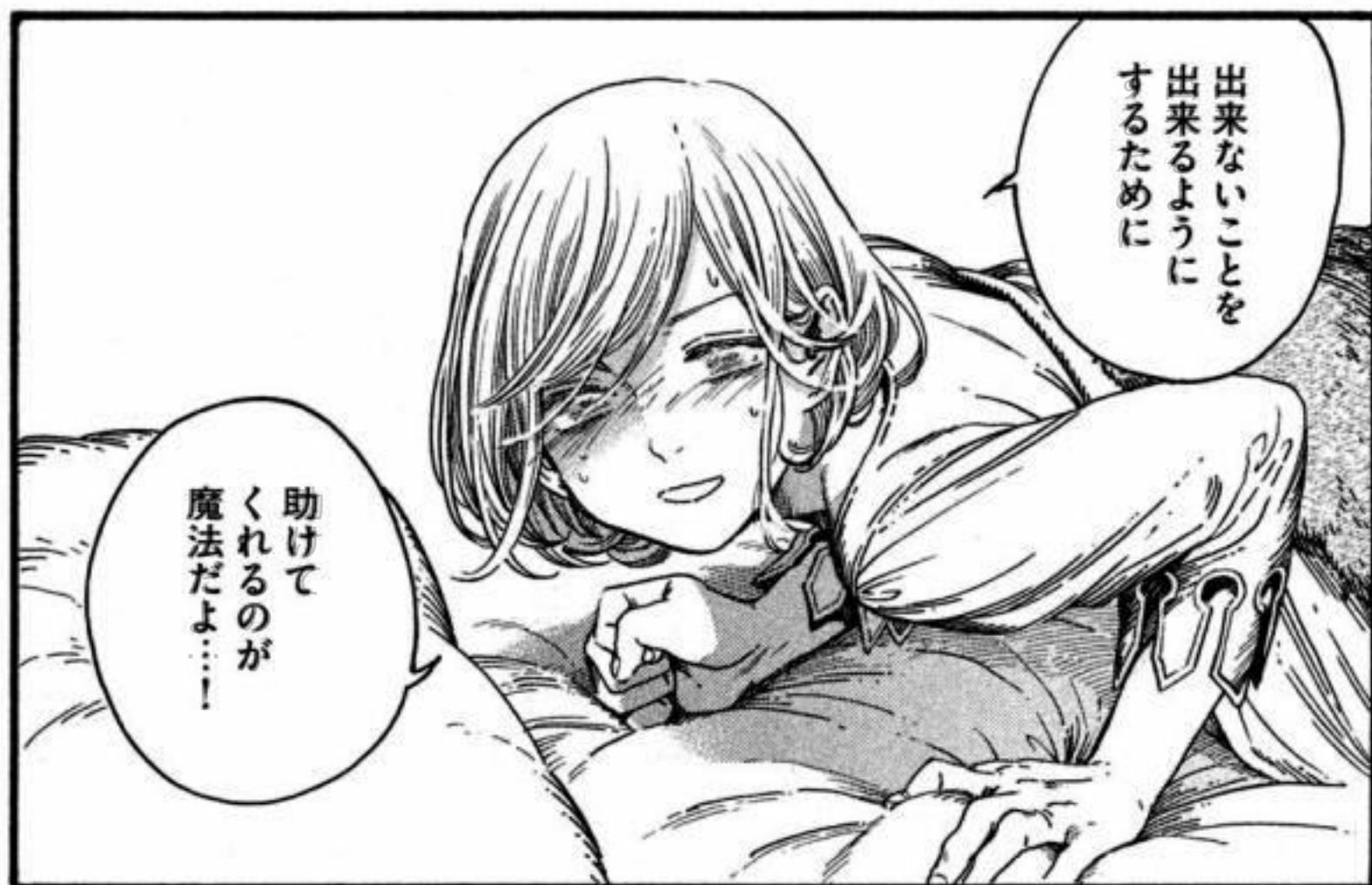
月明かりに
透かして
発光するやつも

液体が減る
だけのやつも
違うな…

匂いはそんなに
特徴がないから
逆にキツイのは
外すとして…











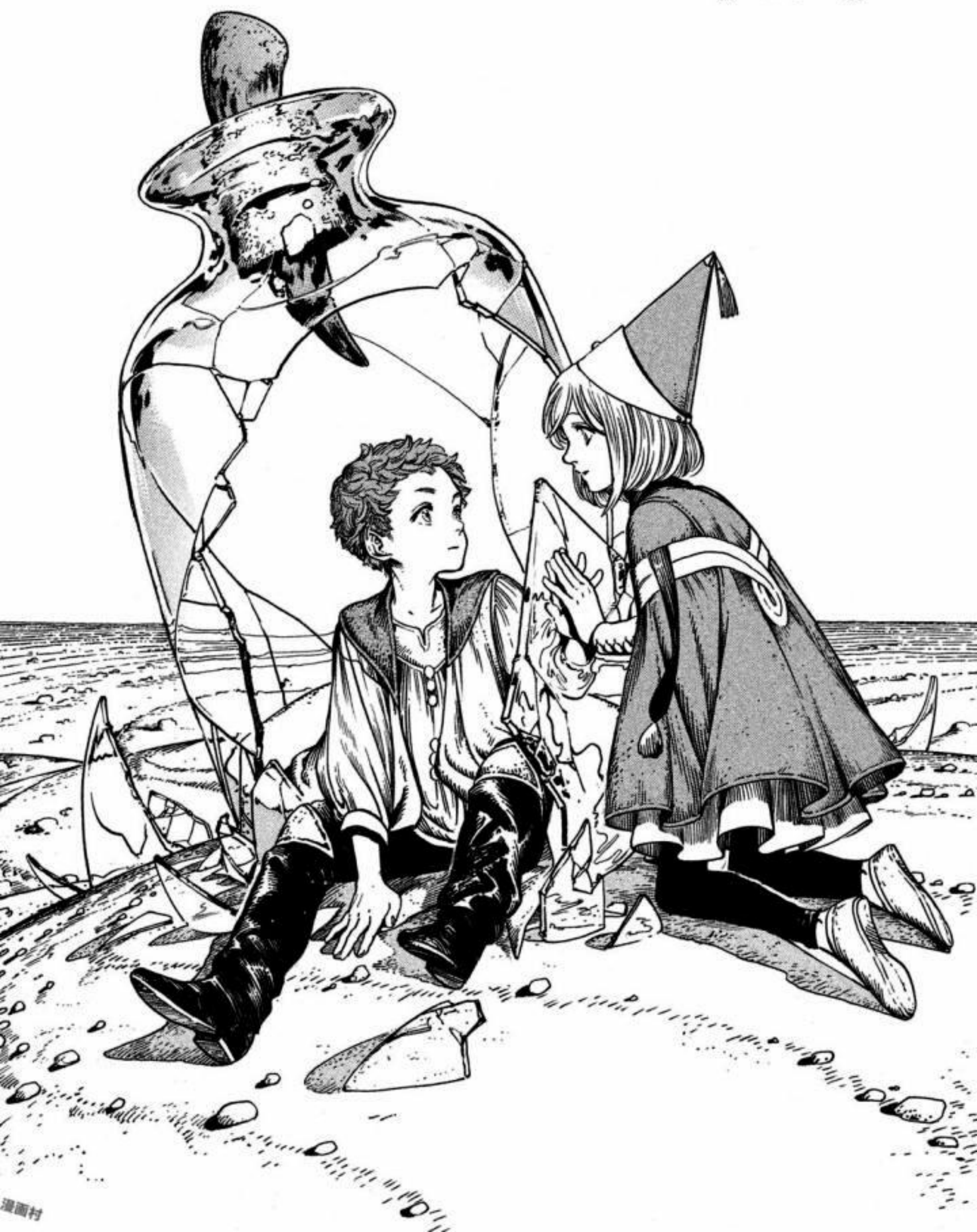
とんがり帽子のアトリエ

◆
ATELIER OF WITCH n HAT



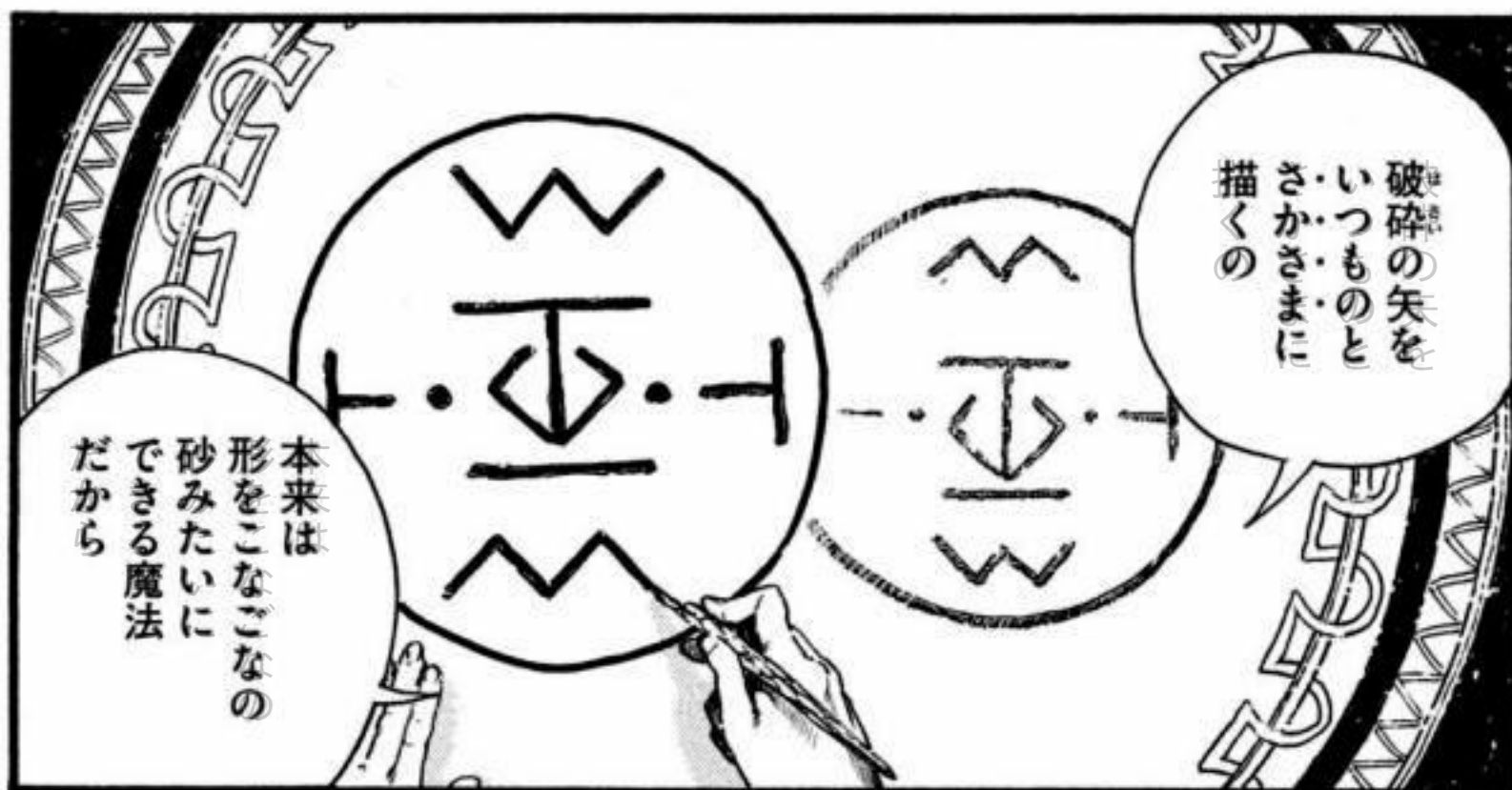


《第17話》



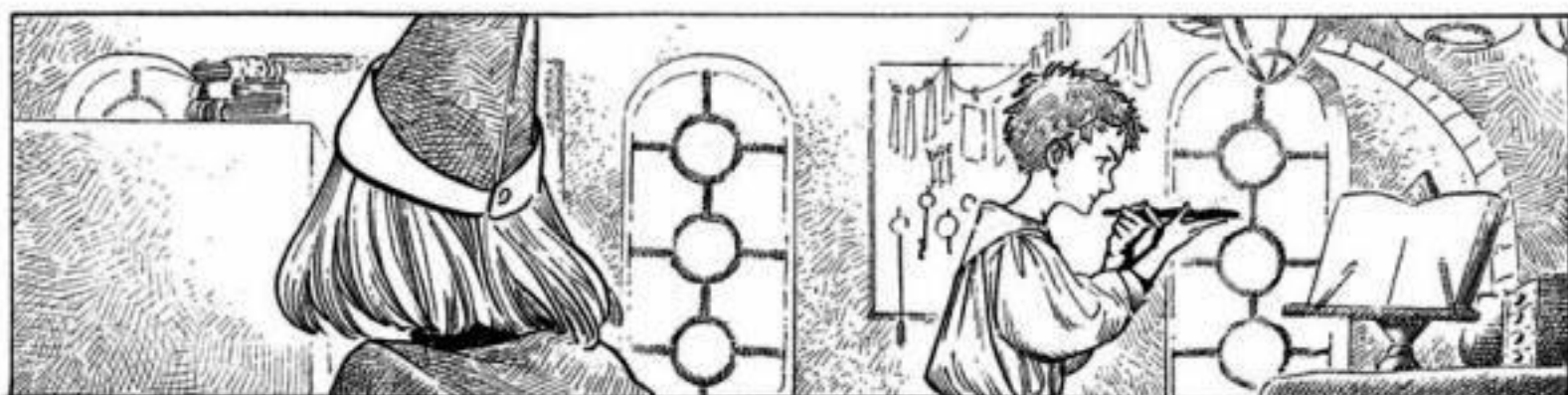


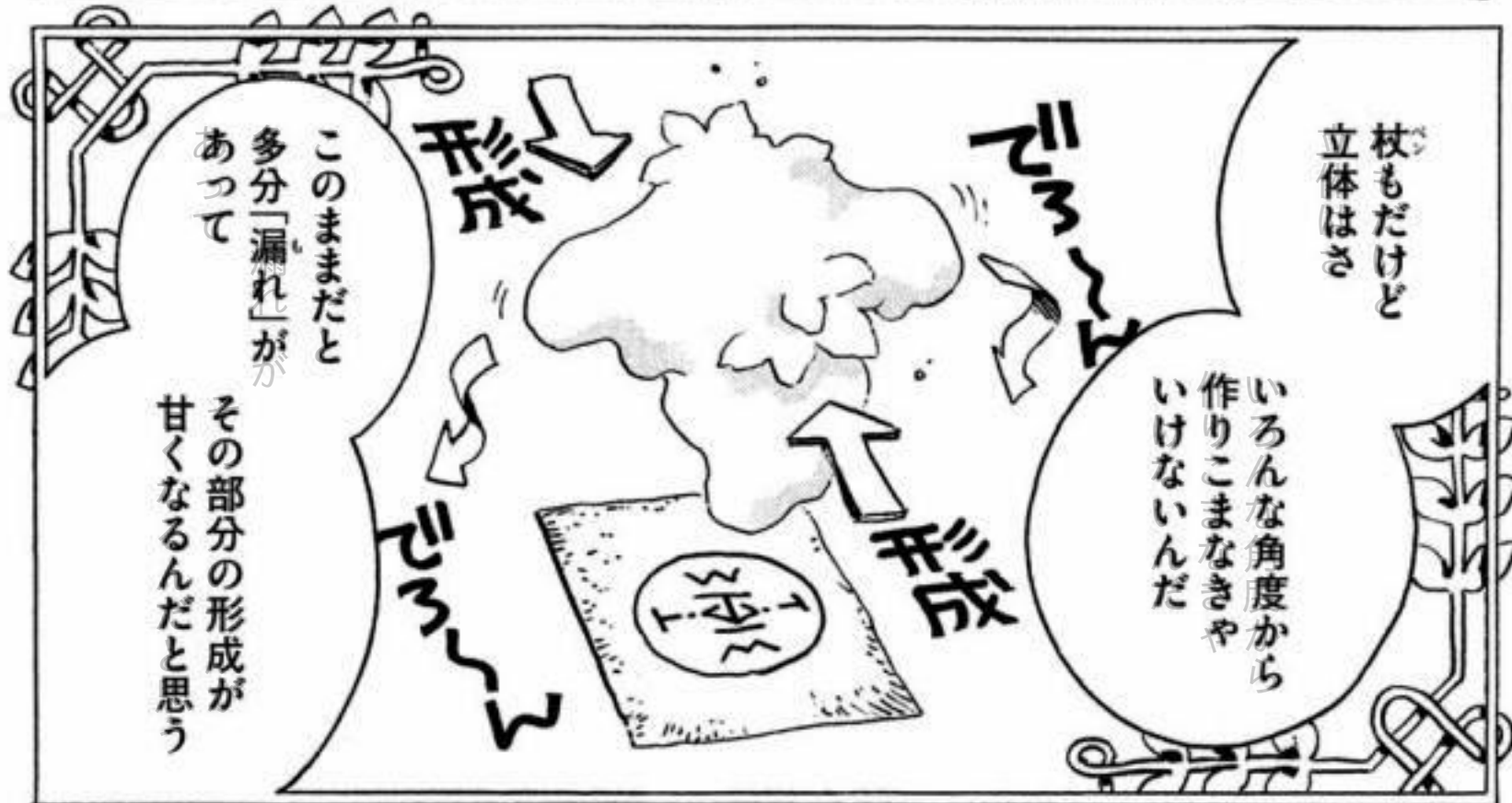
















これ全部
いたわり草じや
なかったのか…

…つとと
危ねー



うわ
すっげえ

サラッ

できた…
一瞬だけど
できた!



わっ
「ゴメン

薬
だよな

ゴホッ
ゴホ
ゴホ

やったあ…

できたよ
俺!



俺この魔法で
探してくるよ

この
魔法なら
見つけれられる!

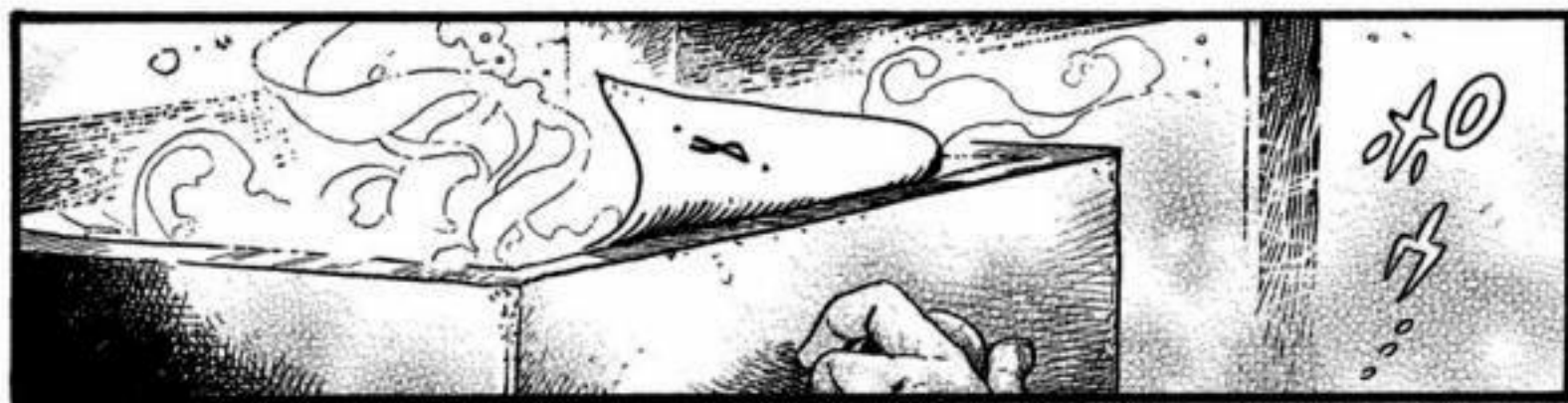


この中にあると
思い込んでた!
薬草室には
あるかな



よし!





知ってる

どの形も

本で覚えた
やつと同じだ…

すこい…

魔法陣を
かざすたび

世界に
焦点が
合っていく
みたいだ

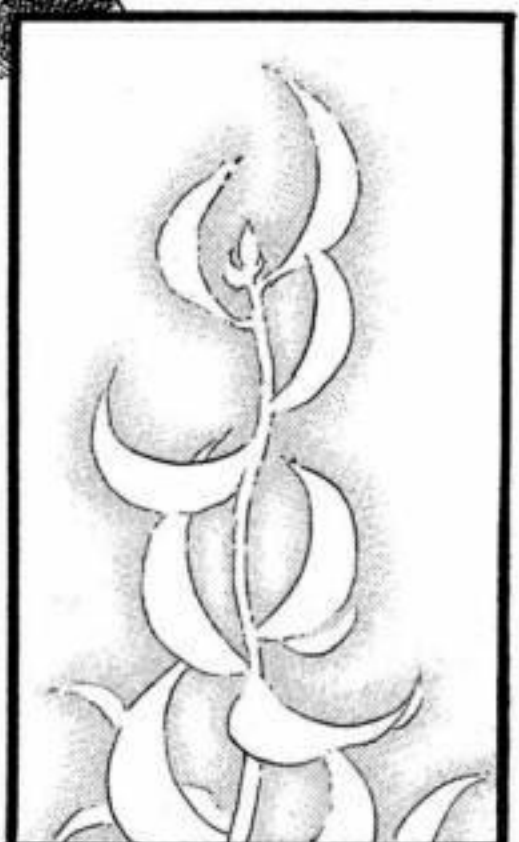
覚えたことの
すべてが

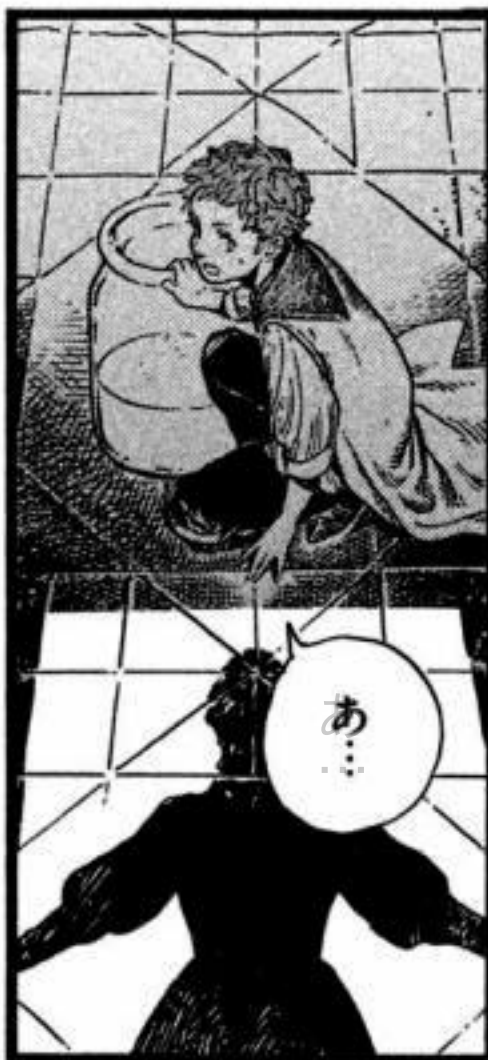
俺に答えを
教えて
くれる

できるように
なることが
増えるのは

こんなに

こんなにも







ごめんなさい…
俺あわてて…



お友達を
心配する気持ちは
立派ですが



それに薬に
ラベルがないのも
勝手にいじらせ
ないためです

与えてはいけない
薬を飲ませてた
かもしれないん
ですよ

他の薬を
処方済みかどうかも
確認しないと



薬は
毒にもなるん
ですから

正しい
知識を
身につけ
なければ



あなた
薬草に
詳しいの？

医療の
道に
興味が？

えっいや
俺は…



まあ…
この場合は
いたわり草で
正解ですが

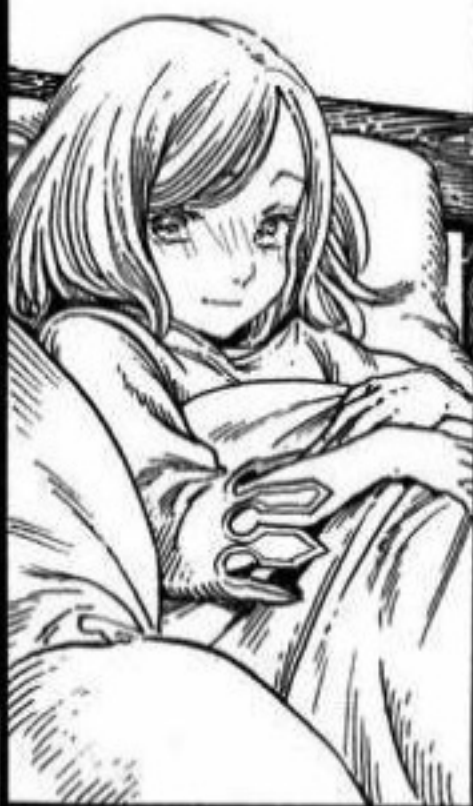


魔法使いの
見習いさん
だったのね



あら

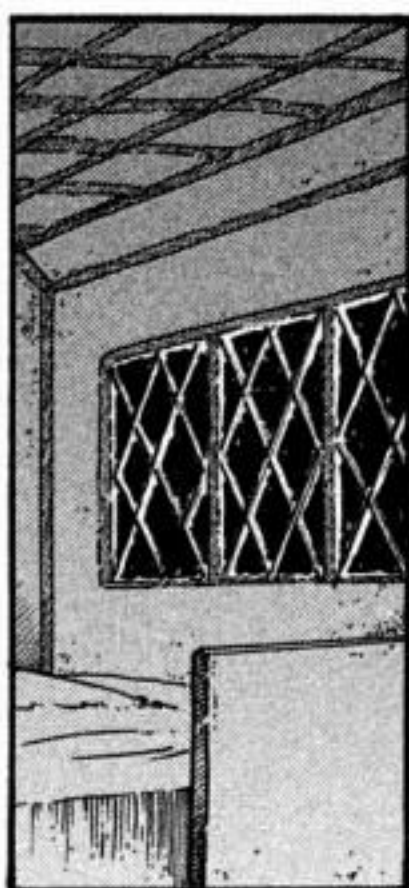
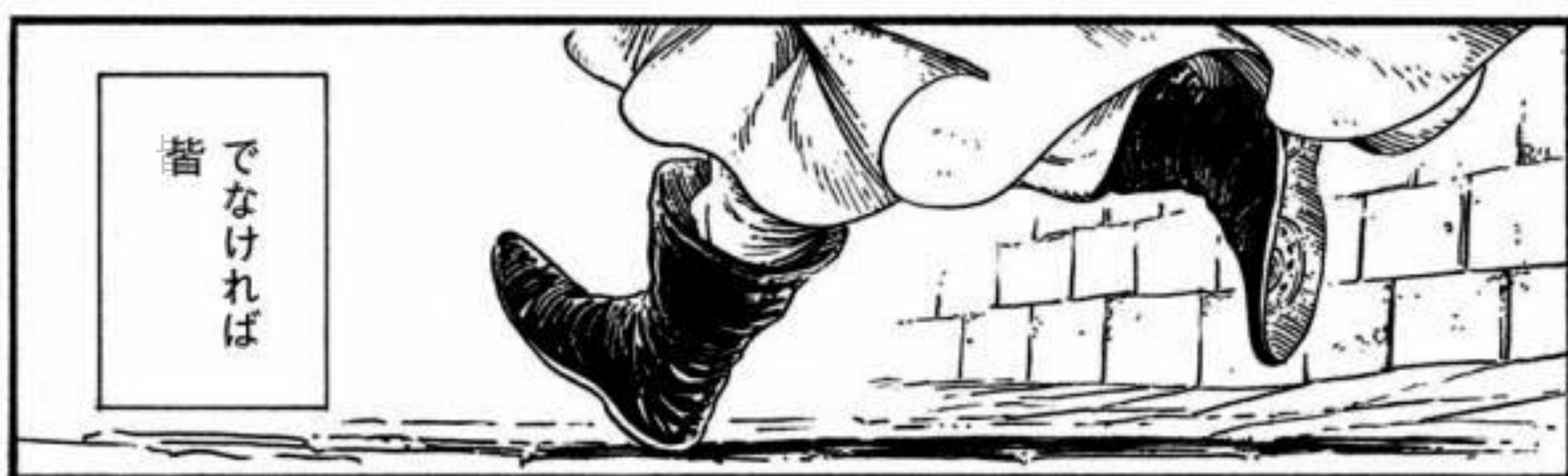
その帽子……



……





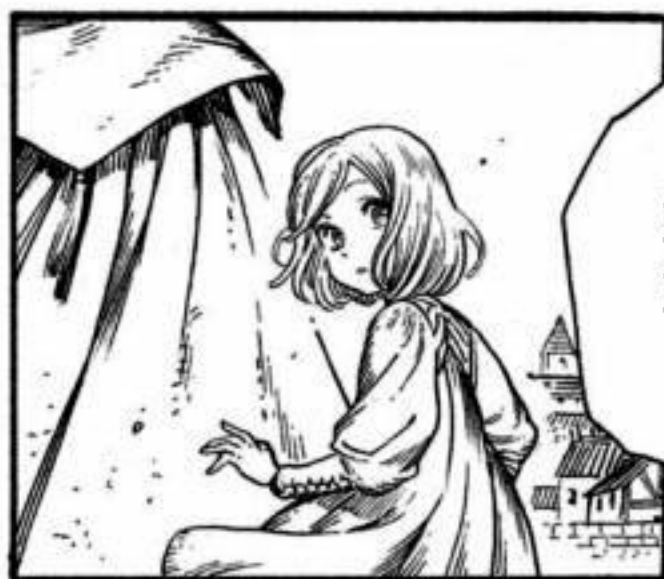




















でも
もう
大丈夫な
気がします

ありがとう
ございます



夢は
対処が
難しい

眠らせる
魔法は
禁止魔法だし…



とにかく
対策を練って
みよう

すべての工夫は
困難から
生まれる



ひとつ

希望が
見えてきました
から！



無理
してない？

はい！
だって…

矢を


さかさまに
描いたら

魔法の効果も
反転する

禁止魔法も
同じはず

だったら





あの絵本に
描かれた
魔法陣の矢を
さかさまにすれば

お母さんを
石にした魔法も
反転できるかも
しれない——!!







そのつもり
です

弟子が
師の庇護を
離れる
試験の時を

見逃す手は
ないですから



とんがり帽子の生き物たち

At N I M A L E S F O R W I T C H H A T

羽根馬 [1話に登場]

都会の中でも、金銭面で比較的豊かな人が乗る「羽根馬車」を率いている。羽根は、馬で言うところの耳と尾の部分に2枚ずつ生えており、これらを腕と数えて「8本足の生き物」とするか「4本足の生き物」とするか、専門家でも意見が分かれている。足を揃えないように、石畳での離陸や着陸は禁止されている。地面を走るスピードは、馬より少し遅い。



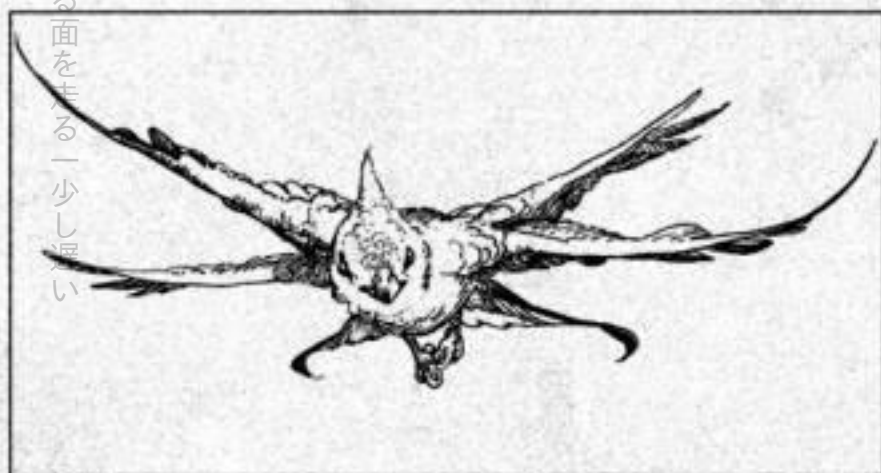
巨鱗竜 [5話に登場]

人里ではほとんど見ることはできない。食性は肉食のものや草食のものなど、さまざまな種がいる。縄張り意識が強く、近付くと長い尾を鞭のようにしなませ攻撃をしかけてくる場合が多い。滑空することもでき、火炎耐性を持つ。鱗や卵の殻は魔染めの材料として使われることもあるが、非常に貴重。



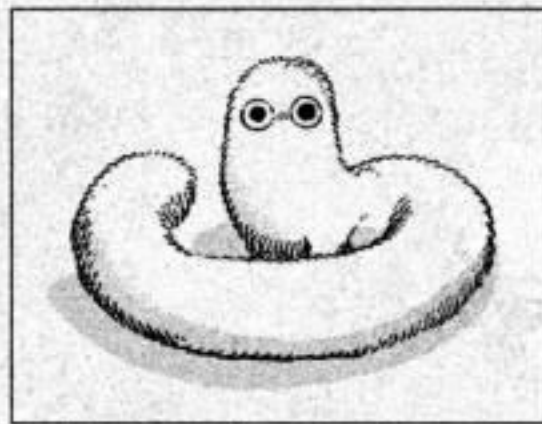
多翼鳥 [8話に登場]

飛行の際の羽根の動きはトンボに似ており、4枚がそれぞれ別の動き方をする。それにより、空中で急に方向を変えろといった、通常の鳥とは異なる飛行方法を実現している。体長は約60cmで、翼を開くと約150cmになる。羽根の内の2枚が足になった種もあり、「グリフォン」と呼ばれている。



フデムシ [4話に登場]

魔墨の匂いを好み、筆のような毛を持つ。魔墨の瓶にふたをせず出しっぱなしにしていると、時にフデムシが魔墨に身を没して、部屋中を徘徊して大変なことになるらしい……。体毛は白色だけではなく、さまざまな色をしたものや、模様があるものもある。木の実や果実を好んで食べる。産まれたばかりのころは体長が短く、比較的丸い。





読めて

週刊

ウェブでもアプリでも! 電子で読むモーニング。

Dengeki

Dモーニングとは…

漫画雑誌「モーニング」が

丸ごと読める電子版。

毎週木曜0時に最新号を自動配信、

有料会員登録後の号は

すべてバックナンバーに保存されるなど

電子ならではの利点がたくさん!



スマホ

でも



タブ
レット

でも



PC

でも

あなたのお好きな端末で

毎週「モーニング」をお楽しみください!!

※一部、紙のモーニングとは内容が異なります。

今すぐ

Dモーニング



で検索!



※この物語はフィクションです。実在の人物・団体・出来事などとは、一切関係ありません。

※収録されている内容は、作品の執筆年代・執筆された状況を考慮し、コミックス発売当時のまま掲載しています。

とんがり帽子のアトリエ(3)

2018年2月1日発行(01)

| | |
|-----|------------------------|
| 著 者 | 白浜 鷗 |
| | ©KAMOME SHIRAHAMA 2018 |
| 発行者 | 森田 浩章 |
| 発行所 | 株式会社 講談社 |
| | 〒112-8001 |
| | 東京都文京区音羽 2-12-21 |